



**Newland AIDC**  
Scanning Made Simple



ワイヤレス2D  
ウェアラブルスキャナー

**NLS-BS50**

**User  
Guide**

## 免責事項

© 2018 新大陸自動識別技術有限公司 All rights reserved.

製品をご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、取扱説明書に従って操作してください。今後のご使用のために取扱説明書を大切に保管してください。

本体を解体したり、本体からラベルをはがしたりしないでください。その場合、新大陸自動識別技術有限公司（Newland）の保証の対象外となります。

この取扱説明書の写真は実際の製品と内容が異なる場合がございます。本製品の修正とアップデートについて、当社は、信頼性、性能、設計の改善のためソフトウェアまたはハードウェアをいつでも予告なくアップデートすることができます。ここで告知するアップデート情報は、事前告知を行わない変更が対象です。

この取扱説明書で説明する製品が当社またはサードパーティが著作権を有するソフトウェアが含まれている場合があります。お客様は個人または法人を問わず、著作権者から書面による同意を得ていない場合、当該ソフトウェアの全体または一部を流通、改造、逆コンパイル、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリング、貸与、譲渡またはサブライセンスが禁止されています。

この取扱説明書は著作権を有しております。当社から書面による許可を得ていない場合、方法を問わず内容の複製、流通または利用を禁止します。

当社は上記免責事項について最終的な解釈権を有しています。

新大陸自動識別技術有限公司（Newland）  
中国福建省福州市馬尾区儒江西路1号Aビル3階新大陸科技园 35001.  
<http://www.newlandaidc.com>

## 改訂履歴

バージョン	内容	改訂日
1.0.0	初版	2021年10月1日
1.0.1	第5章にバッチモードと再送信を追加しました。	2021年11月30日

# 目次

改訂履歴.....	3
はじめに.....	1
概要.....	1
各章紹介.....	1
アイコンについて.....	2
第1章 使用開始.....	3
概要.....	3
第2章 Easyset.....	4
第3章 システム設定.....	5
概要.....	5
バーコードプログラミング.....	5
コマンドプログラミング.....	5
EasySetプログラミング.....	5
プログラミングバーコード/プログラミングコマンド/機能.....	6
プログラミングコマンドの使用.....	6
プログラミングコマンドの使用.....	6
イルミネーション.....	7
エイミング.....	8
電源オンブザー.....	8
グッドリードブザー.....	9
グッドリード持続時間.....	10
グッドリードブザーの周波数.....	11
グッドリードブザーの音量.....	12
バイブレーション.....	13
グッドリードバイブレーション.....	13
グッドリードバイブレーション持続時間.....	13
Vibration Duration (バイブレーション持続時間).....	13
スキャンモード.....	14

デコードセッションタイムアウト.....	16
手振れ補正タイムアウト（センスモード） .....	17
読み取りタイムアウト .....	18
グッドリードディレイ .....	20
画像デコードタイムアウト .....	21
ブザー音を設定 .....	22
発光イルミネーションLED.....	23
バイブレーション持続時間 .....	23
バーコード別スキャン設定 .....	24
GS1アプリケーション識別子（AI）を括弧で囲む.....	25
感度.....	26
トリガーコマンド.....	27
Start Scanningコマンドの変更 .....	27
Stop Scanningコマンドの変更.....	28
電源オン後にバーコードを読み取り .....	29
バーコードの読み取りオン/オフ .....	29
デコード範囲.....	30
画像反転.....	33
読み取りエラーメッセージ .....	34
読み取りエラーメッセージを設定 .....	34
電源オフ .....	35
初期設定.....	35
工場出荷時設定 .....	35
カスタムデフォルト .....	35
製品情報クエリ .....	36
製品名クエリ.....	37
ファームウェアバージョンクエリ .....	37
デコーダーバージョンクエリ.....	37
Bluetoothバージョンクエリ .....	37
ハードウェアバージョンクエリ .....	38
製品シリアル番号クエリ.....	38
OEMシリアル番号クエリ .....	38
製造日クエリ.....	38

データフォーマットバージョンクエリ .....	38
<b>第4章 USB インターフェース.....</b>	<b>39</b>
概要.....	39
USB HID キーボード .....	39
USB 国別キーボードタイプ .....	40
不明な文字の警告ブザー.....	44
Emulate ALT+キーパッド .....	45
ファンクションキーマッピング .....	49
ASCII ファンクションキーマッピング表 .....	50
ASCII ファンクションキーマッピング表 (続き).....	51
キーストローク間の遅延.....	52
Caps Lock.....	52
大文字/小文字の切り替え .....	54
テンキーをエミュレート.....	55
ファストモード .....	57
ポーリングレート .....	58
USB CDC .....	60
VID/PID.....	60
<b>第5章 ワイヤレス通信 .....</b>	<b>61</b>
操作モード .....	61
スキャナーのペアリング情報をクリア .....	61
バッチモード.....	62
バッチモードオプション.....	62
同じバーコードの保存防止 .....	63
バッチモード送信ディレイ .....	64
バッチモード用送信終了メッセージ.....	66
保存されたデータを送信.....	68
フラッシュメモリに保存されたデータをクエリ/クリア .....	69
再送信 .....	70
送信タイムアウト .....	71
再送回数を設定 .....	72
自動電源オフタイムアウト .....	73
スキャナー名を設定 .....	74

<b>第6章 シンボロジー</b> .....	<b>75</b>
概要.....	75
グローバル設定.....	75
全てのシンボロジーを有効化/無効化.....	75
1次元シンボロジーを有効化/無効化.....	75
2次元シンボロジーを有効化/無効化.....	76
郵便用シンボロジーを有効化/無効化.....	76
Code 128.....	77
工場出荷時設定に戻す.....	77
Code 128を有効化/無効化.....	77
Code 128の長さを調節.....	78
EAN-8.....	79
工場出荷時設定に戻す.....	79
EAN-8を有効化/無効化.....	79
チェックキャラクタを送信.....	80
5桁のアドオンコード.....	81
アドオンコードをリクエスト.....	83
EAN-8からEAN-13へ変換.....	83
EAN-13.....	84
工場出荷時設定に戻す.....	84
EAN-13を有効化/無効化.....	84
チェックキャラクタを送信.....	85
2桁のアドオンコード.....	85
5桁のアドオンコード.....	86
290で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	87
378/379で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	88
414/419で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	89
434/439で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	90
977で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	91
978で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	92
979で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト.....	93
UPC-E.....	94
工場出荷時設定に戻す.....	94

UPC-Eを有効化/無効化.....	94
チェックキャラクタを送信 .....	96
2桁のアドオンコード.....	96
5桁のアドオンコード.....	97
アドオンコードをリクエスト.....	98
プリアンブルキャラクタを送信 .....	98
UPC-EからUPC-Aへ変換.....	99
UPC-A.....	100
工場出荷時設定に戻す .....	100
UPC-Aを有効化/無効化 .....	100
チェックキャラクタを送信 .....	100
2桁のアドオンコード.....	101
5桁のアドオンコード.....	102
アドオンコードをリクエスト.....	103
プリアンブルキャラクタを送信 .....	103
クーポンコード .....	104
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13 .....	104
クーポンGS1 Databar出力 .....	105
インタリーブド 2 of 5 .....	106
工場出荷時設定に戻す .....	106
インタリーブド 2 of 5を有効化/無効化.....	106
インタリーブド 2 of 5の長さを調節.....	107
チェックキャラクタ検証.....	108
ITF-14 .....	110
工場出荷時設定に戻す .....	110
ITF-14を有効化/無効化.....	110
ITF-6.....	111
工場出荷時設定に戻す .....	111
ITF-6を有効化/無効化 .....	111
Matrix 2 of 5.....	112
工場出荷時設定に戻す .....	112
Matrix 2 of 5を有効化/無効化.....	112
Matrix 2 of 5の長さを調節.....	113



チェックキャラクタ検証.....	114
Code 39 .....	115
工場出荷時設定に戻す .....	115
Code 39を有効化/無効化.....	115
Code 39の長さを設定.....	116
チェックキャラクタ検証.....	117
スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信.....	118
Code 39 フルアスキーを有効化/無効化 .....	118
Code 32 (イタリア製薬業界用コード)を有効化/無効化.....	119
Code 32 プリフィックス .....	120
Code 32 スタートキャラクタ/ストップキャラクタの送信.....	120
Code 32 チェックキャラクタを送信 .....	121
Codabar .....	122
工場出荷時設定に戻す .....	122
Codabarを有効化/無効化 .....	122
Codabarの長さを設定 .....	123
チェックキャラクタ検証.....	124
スタート/ストップキャラクタ .....	125
Code 93 .....	126
工場出荷時設定に戻す .....	126
Code 93を有効化/無効化.....	126
Code 93の長さを設定.....	127
チェックキャラクタ検証.....	128
China Post 25 .....	129
工場出荷時設定に戻す .....	129
China Post 25を有効化/無効化.....	129
China Post 25の長さを設定.....	130
チェックキャラクタ検証.....	131
GS1-128 (UCC/EAN-128).....	132
工場出荷時設定に戻す .....	132
GS1-128を有効化/無効化 .....	132
GS1-128の長さを設定 .....	133
GS1 Databar (RSS).....	134

工場出荷時設定に戻す .....	134
GS1 Databarを有効化/無効化 .....	134
アプリケーション識別子 (01) を送信 .....	135
GS1 Composite (EAN-UCC Composite) .....	135
工場出荷時設定に戻す .....	135
GS1 Compositeを有効化/無効化 .....	136
UPC/EAN Compositeを有効化/無効化.....	136
Code 11 .....	137
工場出荷時設定に戻す .....	137
Code 11を有効化/無効化.....	137
Code 11の長さを設定.....	138
チェックキャラクタ検証.....	139
チェックキャラクタを送信 .....	140
ISBN .....	141
工場出荷時設定に戻す .....	141
ISBNを有効化/無効化.....	141
ISBN フォーマットを設定 .....	142
ISSN.....	143
工場出荷時設定に戻す .....	143
ISSNを有効化/無効化 .....	143
インダストリアル 25 .....	144
工場出荷時設定に戻す .....	144
インダストリアル 25を有効化/無効化.....	144
インダストリアル25の長さを設定 .....	145
チェックキャラクタ検証.....	146
スタンダード 25 .....	147
工場出荷時設定に戻す .....	147
スタンダード 25を有効化/無効化.....	147
スタンダード25 .....	148
チェックキャラクタ検証.....	149
Plessey .....	150
工場出荷時設定に戻す .....	150
Plesseyを有効化/無効化.....	150

Plesseyの長さを設定 .....	151
チェックキャラクタ検証 .....	152
MSI-Plessey .....	153
工場出荷時設定に戻す .....	153
MSI-Plesseyを有効化/無効化 .....	153
MSI-Plesseyの長さを設定 .....	154
チェックキャラクタ検証 .....	155
チェックキャラクタを送信 .....	156
AIM 128 .....	157
工場出荷時設定に戻す .....	157
AIM 128を有効化/無効化 .....	157
AIM 128の長さを設定 .....	158
ISBT 128 .....	159
工場出荷時設定に戻す .....	159
ISBT 128を有効化/無効化 .....	159
COOP 25 .....	160
工場出荷時設定に戻す .....	160
COOP 25を有効化/無効化 .....	160
COOP 25の長さを設定 .....	161
チェックキャラクタ検証 .....	162
PDF417 .....	163
工場出荷時設定に戻す .....	163
PDF417を有効化/無効化 .....	163
PDF417の長さを設定 .....	164
PDF417 ツインコード .....	165
白黒反転PDF417 コード .....	166
文字エンコーディング .....	167
PDF417 ECI出力 .....	167
Micro PDF417 .....	168
工場出荷時設定に戻す .....	168
Micro PDF417を有効化/無効化 .....	168
Micro PDF417の長さを設定 .....	169
QRコード .....	170

工場出荷時設定に戻す .....	170
QRコードを有効化/無効化.....	170
QRコードの長さを設定 .....	171
QR ツインコード .....	172
白黒反転QRコード.....	173
文字エンコード .....	173
QR ECI 出力 .....	174
<b>Micro QRコード</b> .....	175
工場出荷時設定に戻す .....	175
Micro QRコードを有効化/無効化 .....	175
Micro QRコードの長さを設定 .....	176
<b>Aztec</b> .....	177
工場出荷時設定に戻す .....	177
Aztec コードを有効化/無効化 .....	177
Aztec Codeの長さを設定 .....	178
画像内の複数のバーコードの読み取り .....	179
読み取るバーコード数を決定.....	179
文字エンコード .....	180
Aztec ECI 出力.....	181
<b>データマトリックス</b> .....	182
工場出荷時設定に戻す .....	182
データマトリックスを有効化/無効化 .....	182
データマトリックスの長さを設定 .....	183
データマトリックスツインコード .....	184
長方形バーコード .....	185
白黒反転データマトリックスコード.....	186
文字エンコード .....	186
データマトリックス ECI出力 .....	187
<b>Maxicode</b> .....	188
工場出荷時設定に戻す .....	188
Maxicodeを有効化/無効化 .....	188
Maxicodeの長さを設定 .....	189
<b>Chinese Sensible コード</b> .....	190

工場出荷時設定に戻す .....	190
Chinese Sensibleコードを有効化/無効化.....	190
Chinese Sensibleコードの長さを設定.....	191
Chinese Sensibleツインコード .....	192
白黒反転Chinese Sensible ツインコード .....	193
USPS Postnet.....	194
工場出荷時設定に戻す .....	194
USPS Postnetを有効化/無効化.....	194
チェックキャラクタを送信 .....	194
USPS Intelligent Mail .....	195
工場出荷時設定に戻す .....	195
USPS Intelligent Mailを有効化/無効化 .....	195
Royal Mail.....	196
工場出荷時設定に戻す .....	196
Royal Mailを有効化/無効化 .....	196
USPS Planet.....	197
工場出荷時設定に戻す .....	197
USPS Planetを有効化/無効化 .....	197
チェックキャラクタを送信 .....	197
KIX Post .....	198
工場出荷時設定に戻す .....	198
KIX Postを有効化/無効化.....	198
Australian Postal.....	199
工場出荷時設定に戻す .....	199
Australian Postalを有効化/無効化 .....	199
郵便バーコード（日本） .....	200
工場出荷時設定に戻す .....	200
郵便バーコード（日本）を有効化/無効化 .....	200
GM Code.....	201
工場出荷時設定に戻す .....	201
GMを有効化/無効化 .....	201
GMの長さを設定 .....	202
<b>第7章 データフォーマッタ .....</b>	<b>203</b>

概要 .....	203
データフォーマットを追加 .....	203
バーコードによるプログラミング .....	204
シリアルコマンドによるプログラミング .....	206
データフォーマットを有効化/無効化 .....	207
非適合エラー通知ブザー .....	209
データフォーマット選択 .....	209
シングルスキャンでデータフォーマットを切り替え .....	210
データフォーマットをクリア .....	211
データフォーマットをクエリ .....	211
<b>第 8 章 プリフィックス &amp; サフィックス .....</b>	<b>212</b>
概要 .....	212
グローバル設定 .....	212
全てのプリフィックス/サフィックスを有効化/無効化 .....	212
プリフィックスシーケンス .....	213
カスタムプリフィックス .....	213
カスタムプリフィックスを有効化/無効化 .....	213
カスタムプリフィックスを設定 .....	214
AIM IDプリフィックス .....	215
Code ID プリフィックス .....	216
全てのデフォルトのCode IDを復元 .....	217
Code IDを変更 .....	217
1次元シンボロジーのCode ID変更 .....	218
2次元シンボロジーのCode ID変更 .....	222
カスタムサフィックス .....	224
カスタムサフィックスを有効化/無効化 .....	224
カスタムサフィックスを設定 .....	224
データパッキング .....	225
概要 .....	225
データパッキングオプション .....	225
ストップキャラクタサフィックス .....	227
ストップキャラクタサフィックスを有効化/無効化 .....	227
ストップキャラクタサフィックスを設定 .....	227

<b>第9章</b>	<b>バッチプログラミング</b>	<b>229</b>
	概要	229
	バッチコマンドを作成	230
	バッチバーコードを作成	230
	バッチバーコードを使用	231
<b>付録</b>		<b>232</b>
	英数字バーコード	232
	バーコードを保存/キャンセル	234
	工場出荷時設定表	236
	AIM ID 表	248
	Code ID 表	251
	シンボロジーID	254
	ASCII 表	257
	Unicodeキーマップ	263





# はじめに

## 概要

この取扱説明書ではBS50ワイヤレスバーコードスキャナー（以下、「スキャナー」）の設定方法と使用法を詳しく説明します。

## 各章紹介

第1章 使用開始	: BS50スキャナーの一般的特徴を説明します。
第2章 EasySet	: BS50スキャナーの設定と新しいアプリケーション開発に使用できる便利なツールを紹介します。
第3章 システム設定	: BS50スキャナーの3つの設定方法を紹介し、一般的なパラメータ設定について説明します。
第4章 USB インターフェース	: USB通信のパラメータ設定方法について説明します。
第5章 ワイヤレス通信	: スキャナーとホスト機器間のワイヤレス通信に必要なパラメータ設定方法を説明します。
第6章 シンボロジー	: 各種互換性のあるシンボロジー一覧と、関連するパラメータの設定方法について説明します。
第7章 データフォーマット	: データフォーマットでスキャンデータをカスタマイズする方法を説明します。
第8章 プリフィックス&サフィックス	: プリフィックスとサフィックスでスキャンデータをカスタマイズする方法について説明します。
第9章 バッチプログラミング	: 複雑なプログラミングタスクを一つのバーコードへと統合する方法を説明します。
付録	: 工場出荷時のデフォルト仕様表と、よく使用するプログラミング用バーコードを網羅しています。

---

## アイコンについて



このアイコンは本書の関連事項を示しています。



このアイコンは使用者が注意すべきことを示しています。



このアイコンはスキャナーを簡単に操作、設定できる便利なヒントを示しています。



このアイコンは操作方法を覚えるのに役立つ実例を示しています。

---

# 第1章 使用開始

## 概要

このスキャナーは画像をキャプチャして1次元/2次元バーコードを読み取ります。新大陸自動識別技術有限公司（Newland）が独自に開発した最先端技術を採用していますので、バーコードスキャンエンジン本スキャナーの新しい時代が始まります。

1次元バーコード、2次元バーコード（PDF417、QRコードM1/M2/Micro、データマトリックスの全バージョン）、GS1-DataBarTM（RSS）バーコード（限定、積層、拡張など）をスキャンすることができます。

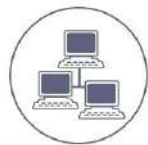
紙、プラスチックカード、LCDなどの各媒体のバーコードを読み取ることができるスキャナーです。本製品は優れたスキャン性能を発揮します。オールインワン設計に加え、非常に軽量で操作スペースが小さいので、さまざまな場面で利用することができます。

## 第 2 章 Easyset

EasySetはWindowsのオペレーティングシステム対応です。福建新大陸自動識別技術有限公司が開発したEasySetは、Newlandのハンディタイプの1次元/2次元バーコードスキャナー、固定バーコードスキャナー、OEMスキャンエンジン用の設定ツールです。EasySetの機能には主にオンラインデバイスのデバイス情報・設定情報の表示・設定とオンラインデバイスへシリアルコマンドを送信してデバイスの反応を受信があります。



Online Device



Offline Device



Command Center



Batch update

---

## 第3章 システム設定

### 概要

スキャナーの設定方法は、バーコードプログラミング、コマンドプログラミング、EasySetプログラミングの3種類があります。

#### バーコードプログラミング

本スキャナーはプログラミングバーコードをスキャンして設定することができます。次のセクションでは、ユーザーがプログラム可能な機能/オプションをプログラミングバーコード/コマンドと一緒に説明します。

このプログラミング方法が最も簡単です。しかし、手動でバーコードのスキャンが必要です。その結果、エラーが発生しやすくなります。

#### コマンドプログラミング

本スキャナーはホスト機器から送信されるシリアルコマンドで設定することもできます。

ユーザーはアプリケーションプログラムを設計して、そのコマンド文字列をスキャナーへ送信し、デバイスの設定を実行できます。

#### EasySetプログラミング

以上の2種類の方法に加え、EasySetでも簡単にスキャナーの設定を実行することができます。EasySetは、部分的にNewland製品向けに設計されたWindowsベースの設定ツールであり、ユーザーはデコードしたデータとキャプチャした画像にアクセスして、スキャナーの設定を実行することができます。このツールについて詳しくは、EasySetユーザーガイドを参照してください。



#SETUPE1  
Enter Setup

## プログラミングバーコード/プログラミングコマンド/機能



上の図は設定機能に**Enter Setup**（設定開始）機能用のプログラミングバーコードとプログラミングコマンドの例です。

- 1.No Case Conversionバーコードです。
- 2.No Case Conversionコマンドです。
- 3.機能/オプションの説明です。
- 4.\*\* 工場出荷時の設定を表しています。

## プログラミングコマンドの使用

バーコードプログラミングの方法以外に、本スキャナーはホスト機器から受信するシリアルコマンド(HEX)で設定することもできます。全てのコマンドは大文字で入力する必要があります。

## プログラミングコマンドの使用

**Enter Setup**バーコードをスキャンするとスキャナーの設定モードを開始できます。続いてプログラミングバーコードの数字をスキャンして、スキャナーの設定を行うことができます。設定モードを終了する場合、**Exit Setup**（設定終了）バーコードまたは非プログラミングバーコードをスキャンするか、スキャナーを再起動します。



@SETUPE0  
\*\* Exit Setup（設定終了）



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



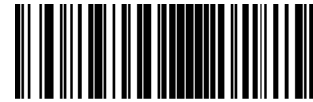
@SETUPE1  
Enter Setup (設定開始)

プログラミングバーコードのデータ（プログラミングバーコード下の文字など）はホスト機器に送信できます。  
下の適切なバーコードをスキャンして、プログラミングバーコードのデータのホスト機器への送信を有効化または無効化できます。



#SETUPT0

**\*\* Do Not Transmit Programming Barcode Data**  
(プログラミングバーコードデータを送信しない)



#SETUPT1

**Transmit Programming Barcode Data**  
(プログラミングバーコードデータを送信する)

## イルミネーション



@ILLSCN1

**\*\* On (オン)**



@ILLSCN0

**Off (オフ)**



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## エイミング



@AMLENA1  
\*\* On (オン)



@AMLENA0  
Off (オン)



@AMLENA2  
Always lighting (常に発光)

## 電源オンブザー

スキャナーは電源を入れるとブザーが鳴るようにプログラムできます。電源オン時のブザーが不要な方は **Off** バーコードをスキャンしてください。



@PWBENA1  
\*\* On (オン)



@PWBENA0  
Off (オン)



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

---

## グッドリードブザー

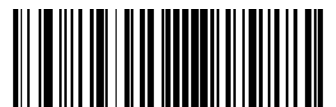
**Off** バーコードをスキャンするとデコード成功を表すブザーがオフになります。**On** バーコードをスキャンするとオンに戻ります。



@GRBENA1  
\*\* On (オン)



@GRBENA0  
Off (オフ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## グッドリード持続時間

このパラメータでは、スキャナーのグッドリードブザーの長さを設定します。20msから300msまで、1ms単位で設定可能です。



@GRBDUR40

Short(短 : 40ms)



@GRBDUR80

\*\* Medium (中 : 80ms)



@GRBDUR120

Long (長 : 120ms)



@GRBDUR

Custom (カスタム : 20 - 300ms)

## Example

### グッドリードブザー持続時間を200msに設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Custom バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「2」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSave バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## グッドリードプザーの周波数

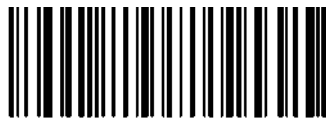
このパラメータでは、周波数を20Hzから20,000Hzまで1Hz単位でプログラムできます。初期設定は4000Hzです。



@GRBFRQ800  
Extra Low(超低 : 800Hz)



@GRBFRQ1600  
Medium (中 : 2730Hz)



@GRBFRQ  
Custom (カスタム : 20 - 20,000Hz)



@GRBFRQ1600  
Low (低 : 1600Hz)



@GRBFRQ4200  
High (高 : 4200Hz)

**E**  
xample

グッドリードプザーの周波数を2,000Hzに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Custom barcode**をスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「2」、「0」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**をスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## グッドリードブザーの音量

音量を20段階（1～20）からお好みで設定できます。音量を大きく設定すると、グッドリードブザーの音量が大きくなります。



@GRBVLL20  
\*\* Loud (大音量)



@GRBVLL7  
Medium (中音量)



@GRBVLL2  
Low (小音量)



@GRBVLL  
Custom(1-20) (カスタム : 1-20段階)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

バイブレーション  
グッドリードバイブレーション



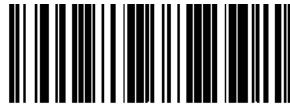
@GRVENA1  
\*\* On (オン)



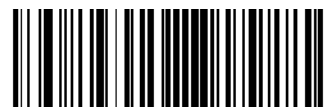
@GRVENA0  
Off (オフ)

グッドリードバイブレーション持続時間

このパラメータでは、持続時間を**100ms** から **2000ms** まで **1ms** 単位でプログラムできます。初期設定は **100ms** です。



@GRVDUR  
Vibration Duration (バイブレーション持続時間)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

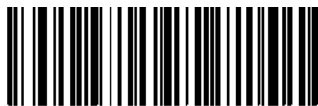
## スキャンモード

- ◇ **Level Mode (レベルモード)** : トリガーを引っ張るとデコードセッションを開始します。バーコードがデコードされるか、トリガーを離すまでデコードセッションが続きます。
- ◇ **Sense Mode (センスモード)** : スキャナーは、提示されたバーコードをスキャンするたびにデコードセッションを開始します。デコードセッションはバーコードがデコードされるか、デコードセッションタイムアウトが時間切れになると終了します。**Timeout between Decodes (Same Barcode) (同じバーコードのデコード間タイムアウト)** は指定の時間内に同じバーコードの不要な再読取りを防止できます。**Sensitivity (感度)** はセンスモード時の画像キャプチャの感度を変更できます。
- ◇ **Continuous Mode (連続モード)** : スキャナーが次から次へと自動的にデコードセッションを開始します。トリガーを押すだけでバーコードの読み取りを中断または再開できます。**Timeout between Decodes (Same Barcode) (同じバーコードのデコード間タイムアウト)** は指定の時間内に同じバーコードの不要な再読取りを防止できます。
- ◇ **Pulse Mode (パルスモード)** : トリガーを引っ張ってから離すと、バーコードがデコードされるか、デコードセッションタイムアウトが切れるまでスキャンは有効になります (デコードセッションタイムアウトはトリガーを離れた時点で開始します)。
- ◇ **Batch Mode (バッチモード)** : トリガーを引くと複数のデコードセッションによるラウンドを開始します。トリガーを引いている間は、バーコードをグッドリードしてバーコード情報を出力します。この複数のスキャンによるラウンドは、トリガーを離すまで続きます。同じラウンドで同じバーコードを読み取ることはできません。



@SCNMOD0

\*\* Level Mode (レベルモード)



@SCNMOD2

Sense Mode (センスモード)



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@SCNMOD3  
Continuous Mode (連続モード)



@SCNMOD4  
Pulse Mode (パルスモード)



@SCNMOD7  
Batch Mode (バッチモード)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## デコードセッションタイムアウト

スキャンを試みる間継続するデコードセッションタイムアウトの最大時間を設定するパラメータです。1msから3,600,000msまで、1ms単位で設定可能です。0に設定するとタイムアウトは無制限になります。初期設定は3000msです。



@CRTSET  
Decode Session Timeout  
(デコードセッションタイムアウト)

**E**  
*example*

### デコードセッションタイムアウトを1,500msに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Decode Session Timeout** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「5」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**をスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## 手振れ補正タイムアウト（センスモード）

このパラメータは、スキャナーがバーコードをデコード後、他のバーコードを「見る」際に周囲の環境に適応する時間を指定します。0msから3,000msまで、1ms単位で設定可能です。初期設定は200msです。



@SENIST

Image Stabilization Timeout

(手振れ補正タイムアウト)

**E**  
xample

手振れ補正タイムアウトを 800ms に設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Image Stabilization Timeout** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 読み取りタイムアウト

読み取りタイムアウトは指定の時間内に同じバーコードを誤ってスキャンすることを防止します。この機能はセン  
スモードと連続モードのみ適用できます。

**Enable Reread Timeout (読み取りタイムアウトの有効化)** : 本体が読み取りタイムアウトが時間切れになる前に二重  
読み取りできなくなります。:

**Disable Reread Timeout (読み取りタイムアウトの無効化)** : 本体は同じバーコードを二重読み取りできます。



@RRDNA1

**\*\*Enable Reread Timeout (読み取りタイムアウトの有効化)**



@RRDNA0

**Disable Reread Timeout (読み取りタイムアウトの無効化)**

以下のパラメータは同じバーコードを連続して読み取る際の時間間隔を設定します。0msから3,600,000msまで、  
1ms単位で設定可能です。3000より大きな値に設定すると、プログラミングバーコードの読み取りタイムアウトは  
3000msに制限されます。初期設定は300msです。



@RRDDUR

**Set Reread Timeout (読み取りタイムアウトを設定)**

**E**  
*xample*

読み取りタイムアウトを1,000msに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Timeout between Decodes (Same Barcode)** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「0」、「0」、「0」  
をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

読み取りタイムアウトが時間切れになる前に直前に読み取った同じバーコードを本体が二重読み取りしてしまう場合、読み取りタイムアウトを再設定できます。この機能を有効化する場合、**Reread Timeout Reset On**（読み取りタイムアウトのリセットをオン）バーコードを設定します。この機能は**Reread Timeout**が有効な場合のみ有効です。



@RRDREN1

**Reread Timeout Reset On**

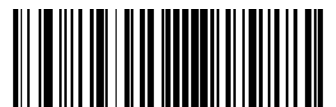
(読み取りタイムアウトのリセットをオン)



@RRDREN0

**\*\* Reread Timeout Reset Off**

(読み取りタイムアウトのリセットをオフ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## グッドリードディレイ

グッドリードディレイはグッドリード後にスキャナーが他のバーコードを読み取ることができるようになる前にかかる最小時間を設定します。このパラメータは 1ms から 3,600,000ms まで、1ms 単位で設定可能です。初期設定は 500ms です。以下の専用のバーコードをスキャンしてディレイを有効化または無効化します。



@GRDENA1  
Enable Good Read Delay  
(グッドリードディレイを有効化)



@GRDENA0  
\*\* Disable Good Read Delay  
(グッドリードディレイを無効化)

グッドリードディレイを設定する場合、以下のバーコードをスキャン後、英数字バーコードをスキャンしてディレイ (1ms~3,600,000ms) を設定したら、付録の **Save** バーコードをスキャンします。



@GRDDUR  
Good Read Delay  
(グッドリードディレイ)

**E**  
xample

グッドリードディレイを 1,000ms に設定する方法

1. **Good Read Delay** バーコードをスキャンします。
2. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「0」、「0」、「0」をスキャンします。
2. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 画像デコードタイムアウト

画像デコードタイムアウトは本体が画像のデコードにかかる最大時間を指定します。このパラメータは1msから3,000msまで、1ms単位で設定可能です。初期設定のタイムアウトは500msです。

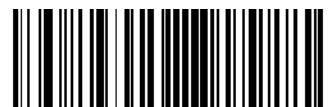


@DETSET  
Image Decoding Timeout  
(画像デコードタイムアウト)

## Example

### 画像デコードタイムアウトを1,000msに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Image Decoding Timeout** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「0」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## ブザー音を設定

ホストからコマンドを受信する際に本体がブザー音をなるように設定することもできます。ブザー音はエラーやその他重要なイベントへのユーザーの注意を惹きつけることができます。

BEEPONxxxFyyyTnnV (xxx: 周波数 (1~20,000Hz設定可能)、yyy: 持続時間 (1~10,000ms設定可能)、nn: 音量レベル (1-20 (小音量~大音量)))

例: 2,000Hzで音量レベル20のブザーを50ms鳴らす方法

入力: ~<SOH>0000#BEEPON2000F50T20V;<ETX>

レスポンス: <STX><SOH>0000#BEEPON2000F50T20V<ACK>;<ETX>



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 発光イルミネーションLED

スキャナーを指定した時間だけ時間発光させることができます。

LEDONixCyyD

(x: LEDの色を指定: 0C - 赤、1C - 白、2C - 緑、3C - 青、yy: LEDの発光時間の長さを指定、10-3,600,000msの間で指定可能)

例: 赤いLEDを1分オン

入力: ~<SOH>0000#LEDONS0C60000D;<ETX>

レスポンス: <STX><SOH>0000#LEDONS0C60000D<ACK>;<ETX>

## バイブレーション持続時間

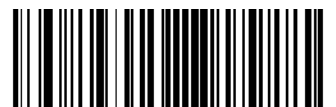
スキャナーを指定した時間だけ振動させることができます。

VIBRATxxx (xxx: 指定のバイブレーション持続時間、50 ~ 3000msの間で指定可能)

例: 1000ms間バイブレーション

入力: ~<SOH>0000#VIBRAT1000;<ETX>

レスポンス: <STX><SOH>0000VIBRAT1000<ACK>;<ETX>



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## バーコード別スキャン設定

**Normal Mode (通常モード)** : 紙のバーコードを読み取る際にこのモードを選択します。

**Screen Mode (スクリーンモード)** : 画面上のバーコードを読み取る際にこのモードを選択します。



@EXPLVL0  
\*\* Normal Mode (通常モード)



@EXPLVL2  
Screen Mode (スクリーンモード)



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## GS1アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲む

**Surround GS1 AI's with Parentheses** (GS1アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲む) を選択した場合、スキャンされたデータを含むアプリケーション識別子 (AI) は出力メッセージの括弧で囲まれます。



@GS1AIP0

**\*\* Do Not Surround GS1 AI's with Parentheses**

(GS1アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲まない)

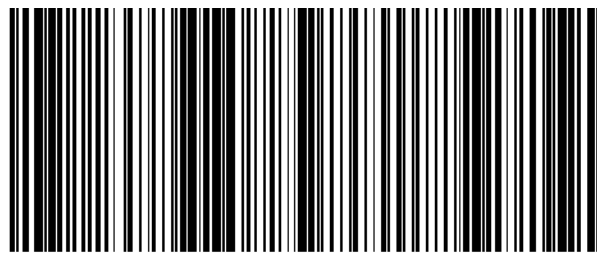


@GS1AIP1

**Surround GS1 AI's with Parentheses**

(GS1アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲む)

**E**  
*sample*



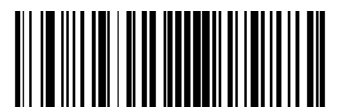
(01) 0 0614141 99999 6 (10) 10ABCDEF123456

**Surround GS1 AI's with Parentheses** を選択した場合、上記のバーコードの出力内容は以下のとおりです。

(01)00614141999996(10)10ABCDEF123456

**Do Not Surround GS1 AI's with Parentheses** を選択した場合、上記のバーコードの出力内容は以下のとおりです。

(01)00614141999996(10)10ABCDEF123456



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 感度

感度はキャプチャされた画像の変化に対する本体の反応の感度を指定します。この値が小さくなると感度が高くなり、本体をトリガーする画像変更の要件が低くなります。利用環境に応じた適切な感度を選択することができます。この機能はセンスモードのみ有効です。20段階（1～20）選択できます。初期設定は中感度(5)です。



@SENLVL14

Low Sensitivity (低感度)



@SENLVL11

\*\* Medium Sensitivity (中感度)



@SENLVL8

High Sensitivity (高感度)



@SENLVL5

Enhanced Sensitivity (感度を強化)



@SENLVL

Custom Sensitivity

(カスタム感度：レベル 1-20)

**E**  
xample

### 感度をレベル10に設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Custom Sensitivity** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## トリガーコマンド

**Enable Trigger Commands (トリガーコマンドを有効化)** を選択した場合、シリアルトリガーコマンドでレベルモード中の本体を有効化および無効化することができます。**Start Scanning (スキャン開始)** コマンド (初期設定: <SOH> T <EOT>、ユーザーがプログラム可能) をレベルモード中の本体に送信してデコードセッションを有効にします。デコードセッションはバーコードがデコードされるか、デコードセッションタイムアウトが時間切れになるか、本体が**Stop Scanning (スキャン停止)** コマンド (初期設定: <SOH> P <EOT>、ユーザーがプログラム可能) を受信すると終了します。



@SCNTCE0

**\*\* Disable Trigger Commands**  
(トリガーコマンドを無効化)



@SCNTCE1

**Enable Trigger Commands**  
(トリガーコマンドを有効化)

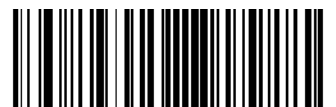
## Start Scanningコマンドの変更

**Start Scanning (スキャン開始)** コマンドは1~10文字 (0x01から0xFFまでのHEX値) で構成することができます。このコマンドでは、文字「?」(HEX:0x3F) は最初の文字に設定できません。初期設定の**Start Scanning** コマンドは<SOH> T <EOT>です。



@SCNTCT

**Modify Start Scanning Command**  
(Start Scanningコマンドの変更)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

**E**  
*xample*

#### Start Scanningコマンドを「\*T」に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Modify Start Scanning Command**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「2」、「A」、「5」、「4」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。

#### Stop Scanningコマンドの変更

**Stop Scanning** (スキャン停止) コマンドは1~10文字 (0x01から0xFFまでのHEX値) で構成することができます。このコマンドでは、文字「?」(HEX:0x3F) は最初の文字に設定できません。初期設定の**Stop Scanning** コマンドは <SOH> P<EOT>です。



@SCNTCP

**Modify Stop Scanning Command**  
(Stop Scanningコマンドの変更)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 電源オン後にバーコードを読み取り

**Disable (無効化)** : スキャナーは電源オン後にバーコードを読み取ることができません。イルミネーションとエイミングはオフです。スキャナーに **Read Barcode** コマンドを送信して起動することができます。

**Enable (有効化)** : スキャナーは電源オン後にバーコードを読み取ることができます。

この機能はインターフェースがUSB キーボードの場合のみ有効です。



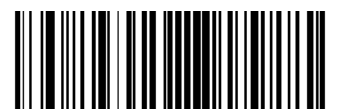
@SCNPEN1  
\*\* Enable (有効化)



@SCNPEN0  
Disable (無効化)

## バーコードの読み取りオン/オフ

**Read Barcode Off (バーコードの読み取りオフ)** コマンド (`~<SOH>0000#SCNENA0;<ETX>`) をスキャナーに送信するとバーコードを読み取ることができなくなります。また、**Read Barcode On (バーコードの読み取りオン)** コマンド (`~<SOH>0000#SCNENA1;<ETX>`) を送信するか、再起動しない限り、スキャナーはバーコードを読み取ることができません。初期設定ではバーコードの読み取りはオンです。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## デコード範囲

**Whole Area Decoding (全体デコード)** : スキャナーが、中心から周りへ視野内の全てのバーコードをデコードしようとし、最初にデコードしたバーコードを送信します。

**Specific Area Decoding (特定範囲をデコード)** : スキャナーが、特定のデコード範囲内のバーコードをデコードしようとし、最初にデコードしたバーコードを送信します。このオプションではスキャナーは視野を狭めてユーザーが読み取りたいバーコードを確実に読み取ることができます。例えば、複数のバーコードが互いに密接している場合、あらかじめ定義した適切なデコード範囲と共に特定の範囲をデコードすることで読み取りたいバーコードのみを読み取ります。



@CADENA0

**\*\* Whole Area Decoding**  
(全体デコード)



@CADENA1

**Specific Area Decoding**  
(特定範囲をデコード)



@CADENA2

**Aimed Area Decoding**  
(指定範囲のみデコード\* BS50-SR のみ対応)

**Specific Area Decoding (特定範囲をデコード)** が有効の場合、スキャナーは事前に定義したデコード範囲内に含まれるバーコードのみ読み取ります。

初期設定のデコード範囲はスキャナーの視野の上40%、下60%、左40%、右60%です。

**Top of Decoding Area (デコード範囲の上)**、**Bottom of Decoding Area (デコード範囲の下)**、**Left of Decoding Area (デコード範囲の左)**、**Right of Decoding Area (デコード範囲の右)** のバーコードと指定のパーセンテージ(0-100)に対応した数字のバーコードでデコード範囲を指定することができます。下の数値は必ず上より大きく、右の数値は必ず左より大きく設定してください。



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@CADTOP  
Top of Decoding Area  
(デコード範囲の上)



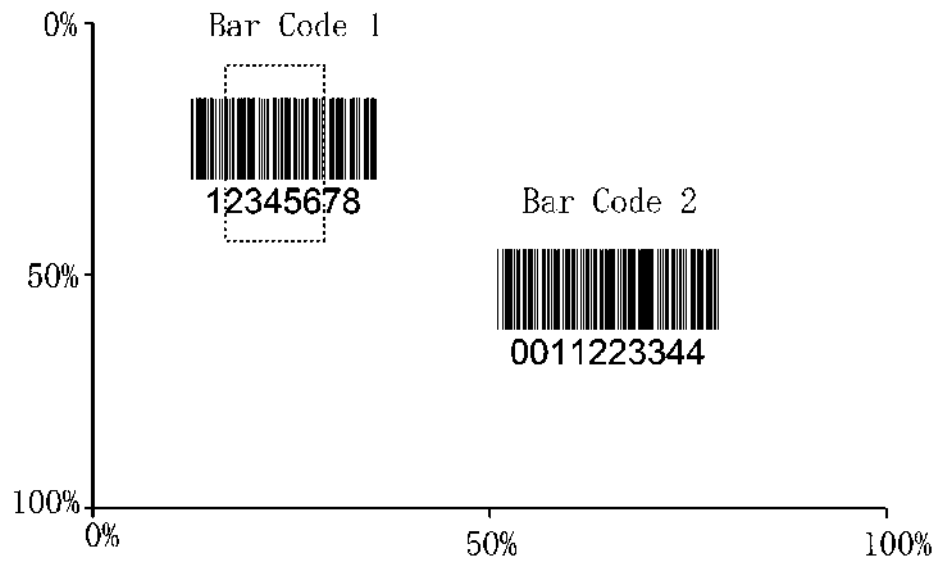
@CADBOT  
Bottom of Decoding Area  
(デコード範囲の下)



@CADLEF  
Left of Decoding Area  
(デコード範囲の左)



@CADRIG  
Right of Decoding Area  
(デコード範囲の右)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

**E**  
example

スキャナーのデコード範囲を上10%、下45%、左15%、右30%に設定して、上図のバーコード1のみ読み取る方法:

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Top of Decoding Area** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Bottom of Decoding Area** バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「4」、「5」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
8. **Top of Decoding Area**バーコードをスキャンします。
9. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「0」をスキャンします。
10. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
11. **Left of Decoding Area** バーコードをスキャンします。
12. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「0」をスキャンします。
13. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
14. **Right of Decoding Area** バーコードをスキャンします。
15. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「3」、「0」をスキャンします。
16. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
17. **Left of Decoding Area** バーコードをスキャンします。
18. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「5」をスキャンします。
19. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
20. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## 画像反転



@MIRROR0

\*\* Do Not Flip (反転しない)



@MIRROR1

Flip Horizontally (水平方向に反転)



@MIRROR2

Flip Vertically (垂直方向に反転)



@MIRROR3

Flip Horizontally & Vertically (水平&垂直方向に反転)

未反転の画像の例



水平方向に反転の画像の例



垂直方向に反転の画像の例



水平&垂直方向に反転の画像の例



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 読み取りエラーメッセージ

以下の適切なバーコードをスキャンして、トリガーを離す前にグッドリードがされなかった場合、デコードセッションタイムアウトが時間切れの場合、スキャナーが**Stop Scanning**コマンドを受信した場合に、読み取りエラーメッセージ（ユーザーがプログラム可能）を送信するか選択します（詳細は、本章の「シリアルトリガーコマンド」セクションを参照ください）。



\*\* Bad Read Message OFF（読み取りエラーメッセージオフ）



Bad Read Message ON（読み取りエラーメッセージオン）

## 読み取りエラーメッセージを設定

読み取りエラーメッセージは、最大7文字（0x00～0xFFのHEX値）まで設定できます。読み取りエラーメッセージを設定する際、**Set Bad Read Message**（読み取りエラーメッセージの設定）バーコード、希望する文字のHEX値を表す英数字バーコード、およびSaveバーコードをスキャンします。初期設定は「NG」です。



Set Bad Read Message（読み取りエラーメッセージを設定）

**E**  
xample

読み取りエラーメッセージを「F」（HEX: 0x46）に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set Bad Read Message**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「4」、「6」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



## 電源オフ



Power Off Scanner (スキャナーの電源オフ)

## 初期設定

### 工場出荷時設定

以下のバーコードをスキャンすると、本体を工場出荷時の状態に戻すことができます。

以下に該当する場合、全てのパラメータを工場出荷時の設定に戻す必要がある可能性があります。

1. 本体が正しく設定されていないため、バーコードの読み取りに失敗する場合。
2. 以前の設定を忘れてしまい、それによる悪影響を防止したい場合。



\*\*Restore All Factory Defaults (工場出荷時設定に戻す)

### カスタムデフォルト

**Restore All Custom Defaults (全てカスタムデフォルトに戻す)** バーコードをスキャンすると、すべてのパラメータをカスタムデフォルトにリセットできます。**Save as Custom Defaults (カスタムデフォルトとして保存)** バーコードをスキャンすると、現在の設定をカスタムデフォルトとして設定できます。カスタムデフォルトは不揮発性メモリに保存されます。





#SETUPE1  
Enter Setup

---



@CUSSAV  
Save as Custom Defaults  
(カスタムデフォルトとして保存)



@CUSDEF  
Restore All Custom Defaults  
(全てカスタムデフォルトに戻す)



本体を工場出荷状態に戻しても、カスタムデフォルトは本体から削除されません。

## 製品情報クエリ

以下のバーコードをスキャンすると、製品情報（製品名、ファームウェアバージョン、デコーダーバージョン、ハードウェアバージョン、製品シリアル番号、OEMシリアル番号、製造日、データフォーマットバージョンなど）がホスト機器に送信されます。



@QRYSYS  
Query Product Information (製品情報クエリ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

製品名クエリ



@QRYPDN

Query Product Name (製品名クエリ)

ファームウェアバージョンクエリ



@QRYFWW

Query Firmware Version (ファームウェアバージョンクエリ)

デコーダーバージョンクエリ



@QRYDCV

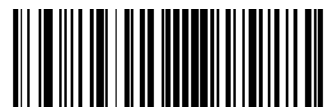
Query Decoder Version (デコーダーバージョンクエリ)

Bluetoothバージョンクエリ



#QRYBFW

Query Bluetooth Version (Bluetoothバージョンクエリ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

ハードウェアバージョンクエリ



@QRYHWW  
Query Hardware Version (ハードウェアバージョンクエリ)

製品シリアル番号クエリ



@QRYPSN  
Query Product Serial Number (製品シリアル番号クエリ)

OEMシリアル番号クエリ



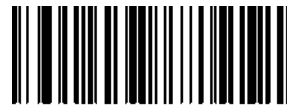
@QRYESN  
Query OEM Serial Number (OEMシリアル番号クエリ)

製造日クエリ



@QRYDAT  
Query Manufacturing Date (製造日クエリ)

データフォーマッタバージョンクエリ



@QRYDFM  
Query Data Formatter Version (データフォーマッタバージョンクエリ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第4章 USB インターフェース

### 概要

USB接続用のオプションは4種類あります。

- ◇ USB HID Keyboard (USB HIDキーボード) : スキャナーからの送信は、USBキーボード入力としてシミュレートされ、コマンド設定やドライバーは必要ありません。バーコードデータは仮想キーボードで直接入力でき、ホスト機器によるデータ受信にも便利です。
- ◇ USB CDC: USB-IFが定める標準的なUSB CDCクラスの仕様に準拠しており、シリアルポートと同じようにホスト機器がデータを受信することができます。この機能を使用する場合、ドライバーが必要です。

### USB HID キーボード

スキャナーがホスト機器のUSBポートに接続されている場合、以下のバーコードをスキャンしてUSB HIDキーボード機能を有効化することができます。スキャナーからの送信はUSBキーボード入力としてシミュレートされます。ホスト機器は仮想キーボードでのキーストロークを受け付けます。プラグ&プレイのためドライバーは必要ではありません。

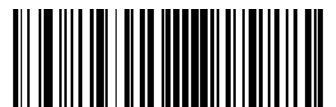


@INTERF3

**\*\* USB HID Keyboard**  
(USB HID キーボード)



ホスト機器がキーボード入力のできる場合、HIDキーボード入力用の追加のソフトウェアは必要ありません。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## USB 国別キーボードタイプ

キーボード配置は国によって異なります。初期設定ではアメリカのキーボードに設定されています。



@KBWCTY0  
\*\* U.S. (アメリカ、英語)



@KBWCTY2  
Brazil (ブラジル)



@KBWCTY4  
Czechoslovakia (チェコ)



@KBWCTY6  
Finland (フィンランド、スウェーデン語)



@KBWCTY1  
Belgium (ベルギー)



@KBWCTY3  
Canada (カナダ、フランス語)



@KBWCTY5  
Denmark (デンマーク)



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup



@KBWCTY7

France



@KBWCTY8

Germany/ ~~Australia~~  
Germany/ ~~Austria~~  
(ドイツ・オーストリア)



@KBWCTY9

Greece (ギリシャ)



@KBWCTY10

Hungary (ハンガリー)



@KBWCTY11

Israel (イスラエル、ヘブライ語)



@KBWCTY12

Italy (イタリア)



@KBWCTY13

Latin America/ South America  
(ラテンアメリカ・南アメリカ)



@KBWCTY14

Netherlands (オランダ)



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@KBWCTY16  
Poland (ポーランド)



@KBWCTY18  
Romania (ルーマニア)



@KBWCTY21  
Slovakia (スロバキア)



@KBWCTY23  
Sweden (スウェーデン)



@KBWCTY15  
Norway (ノルウェー)



@KBWCTY17  
Portugal (ポルトガル)



@KBWCTY19  
Russia (ロシア)



@KBWCTY22  
Spain (スペイン)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@KBWCTY25  
Turkey F (トルコ Fタイプ)



@KBWCTY27  
Britain (イギリス)



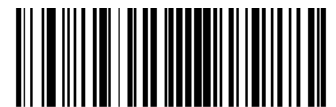
@KBWCTY24  
Switzerland (スイス、ドイツ語)



@KBWCTY26  
Turkey Q (トルコ Qタイプ)



@KBWCTY28  
Japan (日本)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 不明な文字の警告ブザー

キーボードのレイアウトの違いにより、バーコードデータに含まれる一部の文字が、選択したキーボードで使用できない場合があります。その結果、スキャナーは不明な文字を送信できません。

以下のバーコードを読み取ると、不明な文字を検出したときのブザーを有効化または無効化することができます。



@KBWBUC0

**\*\* Do Not Beep on Unknown Character**

(不明な文字を警告しない)



@KBWBUC1

**Beep on Unknown Character**

(不明な文字を警告する)



フランスのキーボード（国コード：7）が選択され、バーコードデータ「ADF」が処理されているとすると、キーボードは「Ð」（0xD0）の文字を見つけることができず、スキャナーはその文字を無視して次の文字を処理します。

**Do Not Beep on Unknown Character（不明な文字を警告しない）**：スキャナーはブザーを鳴らさず、ホスト機器は「AF」を受信します。

**Beep on Unknown Character（不明な文字を警告する）**：スキャナーがブザーを鳴らし、ホスト機器は「AF」を受信します。



**Emulate ALT+Keypad ON（Emulate ALT+キーパッドをオン）** を選択している場合、**Beep on Unknown Character** は機能しません。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Emulate ALT+キーパッド

**Emulate ALT+Keypad** をオンにすると、全ての文字はテンキーを経由して送信され、USBキーボードの国タイプは見落とされます。このモードはコードページとUnicode出力の設定が必要です。コードページは対象の言語を決定します。Unicodeはホスト機器へのASCII入力を決定します。



@KBWALTO

**\*\* Emulate ALT+Keypad OFF**  
(Emulate ALT+キーパッドをオフ)



@KBWALT1

**Emulate ALT+Keypad ON**  
(Emulate ALT+キーパッドをオン)



ASCII 文字 (0x00~0x1F) ファンクションキーマッピングの設定に従って入力されます。



文字の送信にはキーボードエミュレーションが含まれるため、この方法は効率が良くない可能性があります。



**Emulate ALT+Keypad** がオン、**Unicode Encoding** がオフ、**Code Page 1252 (West European Latin)** が選択され、  
バーコードデータ「ADF」(65/208/70) は以下のように送信されます。

「A」 -- 「ALT Make」 + 「065」 + 「ALT Break」

「D」 -- 「ALT Make」 + 「208」 + 「ALT Break」

「F」 -- 「ALT Make」 + 「070」 + 「ALT Break」



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## コードページ

コードページとは、文字コードと文字の対応関係を定義したものです。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンしたバーコードはホストプログラムが想定しているコードページとは異なるコードページで作成されていることが考えられます。このような場合は、以下の適切なバーコードをスキャンして、バーコードが作成されたコードページを選択してください。PDF417、QRコード、Aztec コード、データマトリックスの場合は、コードページの設定のほかに、第6章の「文字エンコード」セクションで文字エンコードを設定する必要があります。この機能は、**Emulate ALT+Keypad** がオンになっている場合のみ有効です。



@KBWCPG0

\*\* Code Page 1252 (西ヨーロッパ言語)



@KBWCPG1

Code Page 1251 (キリル語)



@KBWCPG2

Code Page 1250 (中央・東ヨーロッパ言語)



@KBWCPG3

Code Page 1253 (ギリシャ語)



@KBWCPG4

Code Page 1254 (トルコ語)

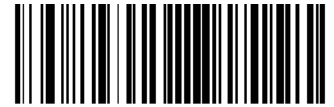


@KBWCPG5

Code Page 1255 (ヘブライ語)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@KBWCPCG6  
Code Page 1256 (アラビア語)



@KBWCPCG7  
Code Page 1257 (バルト語)



@KBWCPCG8  
Code Page 1258 (ベトナム語)



@KBWCPCG9  
Code Page 936  
(簡体字中国語、GB2312、GBK)



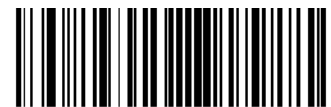
@KBWCPCG10  
Code Page 950  
(繁体字中国語、Big5)



@KBWCPCG11  
Code Page 874(タイ語)



@KBWCPCG12  
Code Page 932  
(日本語、Shift-JIS)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Unicode エンコード

ホストプログラムによっては、受信したバーコードデータの処理のため、異なる文字エンコードを使用する場合があります。例えば、Microsoft Office WordはUnicodeエンコードを使用しているため、**Unicode Encoding**をオンにする必要がありますが、Microsoft Office ExcelやNotepadはCode Pageエンコードを使用しているため、**Unicode Encoding**をオフにする必要があります。この機能は、**Emulate ALT+Keypad**がオンになっている場合のみ有効です。初期設定はオフです。



@KBWCPU0  
\*\* Off



@KBWCPU1  
On

## 先行ゼロ付きキーボードエミュレーション

この機能をオンにすると、テンキーから送られてくる文字列を、先行ゼロ付きISO文字として送信することができます。例えば、ASCII Aは「ALT MAKE」 0065 「ALT BREAK」として送信されます。この機能は、**Emulate ALT+Keypad**が有効な場合のみ使用できます。



@KBWALZ1  
\*\* On

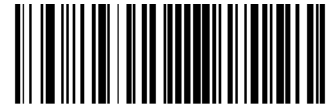


@KBWALZ0  
Off



#SETUPE0  
Exit Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## ファンクションキーマッピング

**Ctrl+ASCII Mode**を選択すると、制御文字（0x00～0x1F）がASCIIシーケンスとして送信されます。初期設定はオフです。



@KBWFKM0  
\*\* Disable（無効化）



@KBWFKM1  
Ctrl+ASCII Mode（Ctrl+ASCIIモード）



@KBWFKM2  
Alt+Keypad Mode（Alt+Keypadモード）

## Example

**Ctrl+ASCII Mode**が選択され、USB HID キーボードの他のパラメータが工場出荷時の設定になっている場合、バーコードデータ「A<HT>(例：水平タブ)F」(0x41/0x09/0x46)が以下のように送信されます。

“A” - Keystroke “A”.

<HT> - “Ctrl Make” + Keystroke “I” + “Ctrl Break”

“F” - Keystroke “F”

一部のテキストエディターでは、「Ctrl I」はイタリック変換を意味します。そのため、出力は「AF」になることがあります。

**Alt+Keypad Mode**が選択され、USB HID キーボードの他のパラメータが工場出荷時の設定である場合、上記のデータは以下のように送信されます。

“A” - Keystroke “A”.

<HT> - “Alt Make” + Keystrokes “009” + “Alt

Break”“F” - Keystroke “F”



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

### ASCII ファンクションキーマッピング表

ASCII 制御文字略号	ASCII コード(HEX値)	ファンクションキーマッピング無効化	Ctrl+ASCII
NUL	00	Null	Ctrl+@
SOH	01	Keypad Enter	Ctrl+A
STX	02	Caps Lock	Ctrl+B
ETX	03	ALT	Ctrl+C
EOT	04	Null	Ctrl+D
ENQ	05	CTRL	Ctrl+E
ACK	06	Null	Ctrl+F
BEL	07	Enter	Ctrl+G
BS	08	左矢印	Ctrl+H
HT	09	水平タブ	Ctrl+I
LF	0A	下矢印	Ctrl+J
VT	0B	垂直タブ	Ctrl+K
FF	0C	Delete	Ctrl+L
CR	0D	Enter	Ctrl+M
SO	0E	Insert	Ctrl+N
SI	0F	Esc	Ctrl+O
DLE	10	F11	Ctrl+P
DC1	11	Home	Ctrl+Q
DC2	12	PrintScreen	Ctrl+R
DC3	13	Backspace	Ctrl+S
DC4	14	tab+shift	Ctrl+T
NAK	15	F12	Ctrl+U
SYN	16	F1	Ctrl+V
ETB	17	F2	Ctrl+W
CAN	18	F3	Ctrl+X
EM	19	F4	Ctrl+Y
SUB	1A	F5	Ctrl+Z
ESC	11	F6	Ctrl+[
FS	1C	F7	Ctrl+\
GS	1D	F8	Ctrl+]
RS	1E	F9	Ctrl+6
US	1F	F10	Ctrl+-



#SETUPE0  
Exit Setup

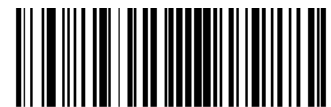


#SETUPE1  
Enter Setup

### ASCII ファンクションキーマッピング表 (続き)

上の表の最後の5文字（0x1B～0x1F）は、USキーボード配列にのみ適用されます。次の表は、他の国でこれらの5文字に相当するものを示しています。

国名	Ctrl+ASCII					
アメリカ	Ctrl+[	Ctrl+\	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-	
ベルギー	Ctrl+[	Ctrl+<	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-	
スウェーデン	Ctrl+8	Ctrl+<	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-	
フランス	Ctrl+^	Ctrl+8	Ctrl+\$	Ctrl+6	Ctrl+=	
ドイツ		Ctrl+Ã	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-	
イタリア		Ctrl+\	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-	
スイス		Ctrl+<	Ctrl+..	Ctrl+6	Ctrl+-	
イギリス	Ctrl+[	Ctrl+ ¢	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-	
デンマーク	Ctrl+8	Ctrl+\	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-	
ノルウェー	Ctrl+8	Ctrl+\	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-	
スペイン	Ctrl+[	Ctrl+\	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## キーストローク間の遅延

このパラメータは、エミュレートされたキーストローク間の遅延を指定します。以下のバーコードをスキャンするとホスト機器がゆっくり送信する必要がある場合に遅延させることができます。初期設定は**No Delay** です。



@KBWDLY0  
\*\* No Delay (遅延なし)



@KBWDLY40  
Long Delay (長 : 40ms)



@KBWDLY20  
Short Delay (短 : 20ms)

## Caps Lock

**Caps Lock On (Caps Lockをオン)** オプションでバーコードデータに含まれている大文字と小文字を変換できます。変換はホスト機器のキーボードのCaps Lockキーの状態に関係なく発生します。



\*\* Caps Lock OFF, Non-Japanese Keyboard  
(Caps Lockをオフ、日本語以外のキーボード)



Caps Lock ON, Non-Japanese Keyboard  
(Caps Lockをオン、日本語以外のキーボード)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



EmulatEmuEmulate ALT+Keypad ON/ Convert All to Upper Case/ Convert All to Lower Case の各バーコードは  
Caps Lock ONを優先します。



Caps Lock ON機能を選択している場合、バーコードデータ「AbC」は「aBc」として送信されます。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

### 大文字/小文字の切り替え

以下の適切なバーコードをスキャンすると、すべてのバーコードデータを大文字または小文字に変換できます。



@KBWCAS0

\*\* No Case Conversion (変換なし)



@KBWCAS1

Convert All to Upper Case  
(全て大文字へ変換)



@KBWCAS2

Convert All to Lower Case  
(全て小文字へ変換)

**E**  
xample

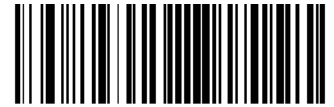
Convert All to Lower Case機能が有効な場合、バーコードデータ「AbC」は「abc」として送信されます。



Emulate ALT+Keypad ONを選択した場合、Convert All to Lower CaseおよびConvert All to Upper Caseは機能しません



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## テンキーをエミュレート



**Do Not Emulate Numeric Keypad 1 (テンキーをエミュレートしない1)** : 数字 (0~9) の送信は、メインキーボードのキーストロークとしてエミュレートされます。

**Emulate Numeric Keypad 1 (テンキーをエミュレートする1)** : 数字 (0~9) の送信を、テンキーのキーストロークとしてエミュレートします。模擬テンキーのNum Lockの状態は、ホスト機器のNum Lockの状態によって決まります。ホスト機器のNum Lockがオフになっている場合、模擬テンキーの出力は数字キーではなくファンクションキーになります。

**Do Not Emulate Numeric Keypad 2 (テンキーをエミュレートしない2)** : 「+」、「-」、「\*」、「/」の送信は、メインキーボードのキーストロークとしてエミュレートされます。

**Emulate Numeric Keypad 2 (テンキーをエミュレートする2)** : 「+」、「-」、「\*」、「/」の送信は、テンキー上のキーストロークとしてエミュレートされます。



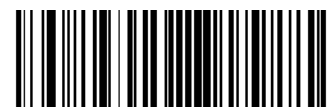
@KBWNUM0

**\*\* Do Not Emulate Numeric Keypad 1**  
(テンキーをエミュレートしない1)



@KBWNUM1

**Emulate Numeric Keypad 1**  
(テンキーをエミュレート1)



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@KBWNCH0  
**\*\* Do Not Emulate Numeric Keypad 2**  
(テンキーをエミュレートしない2)



@KBWNCH1  
**Emulate Numeric Keypad 2**  
(テンキーをエミュレートする2)



Emulate ALT+Keypad ONはEmulate Numeric Keypadを優先します。

## E xample

Emulate Numeric Keypad 1が有効である場合を想定します。

ホスト機器のNum LockがONの場合、「A4.5」は「A4.5」として送信されます。

ホスト機器のNum LockがOFFの場合、「A4.5」は「.A」として送信されます。

1. メインキーボードで「A」が送信されます。
2. 「4」がファンクションキー「左へカーソル移動」として送信されます。
3. メインキーボードに「.」が送信されます。
4. 「5」はどのファンクションキーにも対応していないため、送信されません。

ホスト機器は最終的に「A」を受信します。



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

---

記号「+」、「-」、「\*」、「/」をテンキーで有効化



@KBWNCH0  
\*\* Off



@KBWNCH1  
On

### ファストモード

**Fast Mode On** (ファストモードをオン) を選択している場合、スキャナーの文字送信速度が上がります。ホストが文字をドロップする場合、ファストモードがオフになるか、ポーリングレートの値が大きくなります。e.



@KBWFAS0  
\*\* Fast Mode Off (ファストモードをオフ)



@KBWFAS1  
Fast Mode On (ファストモードをオン)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## ポーリングレート

このパラメータはUSBキーボードのポーリングレートを指定します。ホスト機器が文字をドロップする場合、ポーリングレートを大きな値へ変更します。



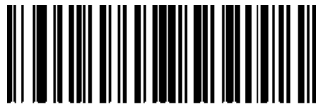
@KBWPOR0

1ms



@KBWPOR1

2ms



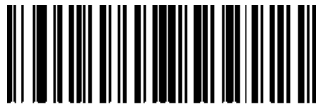
@KBWPOR2

3ms



@KBWPOR3

\*\* 4ms



@KBWPOR4

5ms



@KBWPOR5

6ms



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@KBWPOR6  
7ms



@KBWPOR7  
8ms



@KBWPOR8  
9ms



@KBWPOR9  
10ms



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## USB CDC

スキャナーがホスト機器のUSBポートに接続されている場合、ホスト機器はUSB CDC機能のおかげでシリアルポートと同じ方法でデータを受信できます。この機能を使用する場合、ドライバーが必要です。当社オフィシャルサイト ([www.newlandaidc.com](http://www.newlandaidc.com)) からドライバーをダウンロードできます。



@INTERF8  
USB CDC

## VID/PID

USBでは、VID（ベンダーID）とPID（製品ID）を用いてデバイスの識別、位置特定を行います。VIDは、USBインプリメンターズ・フォーラムによって割り当てられます。NewlandのVIDは1EAB（Hex）です。当社の各製品には、さまざまなPIDが使用されています。各PIDには、ベースナンバーとインターフェースタイプ（キーボード、COMポートなど）が含まれています。

製品	インターフェース	PID (Hex)	PID (Dec)
BS50	USB HID キーボード	0022	0034
	USB CDC	0006	0006



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第5章 ワイヤレス通信

### 操作モード

スキャナーには、以下の操作モードがあります。Enter Setup バーコードをスキャンすると、操作モードが変更されます。

**Bluetooth HID Mode**では、スキャナーはBluetoothを使用してリモートホストと通信することができます。これら2つのBluetoothデバイスが互いに通信する前に、まずスキャナーをホスト機器とペアリングする必要があります。USB HID キーボードで利用可能なすべての機能は、Bluetooth HID でも利用できます。

注：他のBluetoothデバイスと接続する前に、スキャナーとホスト機器のペアリング情報をクリアする必要があります。

**Bluetooth BLE Mode**は、Bluetooth SDKに基づき、ホスト内のアプリケーションと通信するBluetooth低消費電力通信モードです。このモードでは、スキャナーはGATTサービスをベースにしたシリアルトランスペアレント伝送サービスを提供します。



@INTERF10  
\*\*Bluetooth HID



@INTERF11  
Bluetooth BLE

### スキャナーのペアリング情報をクリア



@WLSCLP

Clear Pairing Info on Scanner (スキャナーのペアリング情報をクリア)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## バッチモード

### バッチモードオプション

**Off (オフ)** : スキャナーは、スキャンしたバーコードごとに送信を試みます。サービス範囲外の場合、スキャンされたデータは失われます。

**Automatic Batch Mode (自動バッチモード)** : サービス範囲内にある場合、スキャナーはスキャンした全てのバーコードの送信を試みます。範囲外の場合、スキャナーはスキャンしたデータをフラッシュメモリに保存します。サービス範囲に戻ると、スキャナーは保存されたデータを自動送信し、送信完了後にフラッシュメモリからデータを削除します。is done.

**Manual Batch Mode (手動バッチモード)** : スキャンしたデータは、サービス範囲内化を問わずフラッシュメモリに保存されます。保存されたデータは、**Transmit Stored Data** バーコードをスキャンしてホスト機器に送信できます : 送信後の保存データの自動消去機能がオンになっている場合、スキャナーは送信後にフラッシュメモリから保存データを自動的に削除します。d on.



@WLSBAT0

\*\* Off (オフ)



@WLSBAT1

Automatic Batch Mode (自動バッチモード)



@WLSBAT2

Manual Batch Mode (手動バッチモード)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 同じバーコードの保存防止

この機能は、自動または手動バッチモードでバーコードをスキャンしているときのみ使用できます。

**On (オン)** : フラッシュメモリに存在するバーコードに遭遇した場合、スキャナーはデータを破棄し、エラーのブザー音を発します。

**Off (オフ)** : スキャナーは、フラッシュメモリに存在するバーコードに遭遇した場合、データを保存します。



@WLSSE0  
\*\* Off Off (オフ)



@WLSSE1  
On (オン)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## バッチモード送信ディレイ

フラッシュメモリに保存された複数のバーコードをホスト機器に送信するとき、それらのバーコードの送信が速すぎてアプリケーションが処理できないことがあります。バーコード間の送信ディレイをプログラムするには、以下のディレイ用バーコードのいずれかをスキャンします。



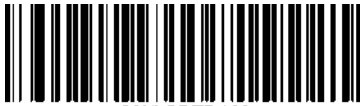
@WLSBTD0

\*\* No Transmit Delay (なし : 0ms)



@WLSBTD50

Short Transmit Delay (短 : 50ms)



@WLSBTD100

Medium Transmit Delay (中 : 100ms)



@WLSBTD150

Long Transmit Delay (長 : 150ms)



@WLSBTD

Custom Transmit Delay (カスタム : 0-10,000ms)



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## E xample

### バッチモード送信ディレイ200msに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Custom Transmit Delay**をバーコードスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「2」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## バッチモード用送信終了メッセージ

以下のバーコードをスキャンして、保存されているすべてのデータの送信が終了したことをホスト機器に通知する送信終了メッセージ（ユーザープログラム可能）を送信するかを選択することができます。この機能は、手動モード選択時に手動で開始されたデータ送信にのみ使用できます。



**\*\* End of Transmission Message Off**

(バッチモード用送信終了メッセージをオフ)



**End of Transmission Message On**

(バッチモード用送信終了メッセージをオン)

送信終了メッセージは、最大10文字（HEX値：0x00～0xFF）です。送信終了メッセージの設定は、**Set End of Transmission Message**（バッチモード用送信終了メッセージを設定）バーコード、希望する文字の16進数値を表す数字バーコード、および**Save**バーコードをスキャンします。初期設定は"EOT"です。



**Set End of Transmission Message**

(バッチモード用送信終了メッセージを設定)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## E xample

送信終了メッセージを「END」(HEX: 0x45, 0x4E, 0x44)に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set End of Transmission Message**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「4」、「5」、「4」、「E」、「4」、「4」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 保存されたデータを送信

以下のバーコードを読み取ると、フラッシュメモリに保存されているデータをホストへ送信することができます。  
この機能は、手動バッチモードでのみ使用できます。



@WLSSET  
Transmit Stored Data  
(保存されたデータを送信)

以下のバーコードをスキャンすると、フラッシュメモリに保存されているデータをクリアするか保存するかを選択することができます。この機能は、手動バッチモードでのみ使用できます。



@WLSCLE0  
\*\* Off



@WLSCLE1  
On



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

フラッシュメモリに保存されたデータをクエリ/クリア



@WLSQFC

Query the Number of Stored Barcodes

(保存されたバーコードの枚数をクエリ)



@WLSCLF

Clear All Stored Data

(保存データをクリア)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 再送信

送信機能がオンの場合、スキャナーはデータパケット送信後にホスト機器からのACK応答を待ち、NAK応答を受信するか、再送信タイムアウトが終了するとパケットを再送信します。注：この機能を使用するには、データパッキングの有効化が必要です（有効にする方法については、第9章の「データパッキングオプション」を参照してください）。



@WLSRTE0  
\*\* Retransmission Off (再送信オフ)



@WLSRTE1  
Retransmission On (再送信オン)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 送信タイムアウト

データパケット送信後、スキャナーがホスト機器からのACK応答を待つ時間を指定します。200msから10,000msまで1ms刻みでプログラム可能です。初期設定は200msです。**注**：この機能を使用するには、再送信機能がオンになっている必要があります。



@WLSRTT  
Set Transmission Timeout

(送信タイムアウトを設定)

**E**  
xample

### 送信タイムアウトを300msに設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set Transmission Timeout** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「3」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 再送回数を設定

This pこのパラメータは、スキャナーがホスト機器からのACK応答を待っているときにデータパケットを再送する回数を指定します。選択範囲は1～10回です。初期設定は3回再送です。**注**：この機能を使用するには、再送信機能がオンになっている必要があります。



@WLSRTN  
Set Retransmission Count

(再送回数を設定)

## Example

### 再送回数を5回に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set Retransmission Timeout** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「5」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 自動電源オフタイムアウト

自動電源オフタイムアウトは、スキャナーが非アクティブ状態から自動的に電源オフするまでの時間を設定します。



@WLSAPO0

\*\* 5 Minutes (5分)



@WLSAPO1

10 Minutes (10分)



@WLSAPO2

20 Mintues (20分)



@WLSAPO3

30 Mintues (30分)



@WLSAPO4

60 Minutes (60分)



@WLSAPO5

Disable Auto Power-off  
(自動電源オフを無効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## スキャナー名を設定

以下のバーコードを読み取ると、スキャナーの名前を設定することができます。最大長さは5文字（HEX値0x20～0x7E）です。  
スキャナー名の初期設定は「00000」です。



@WLSNAM  
Scanner Name（スキャナー名）

**E**  
xample

### スキャナー名を「0A000」に設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
  2. **Scanner Name** バーコードをスキャンします。
  3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「3」、「0」、「4」、「1」、「4」、「2」をスキャンします。
  4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
  5. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。
- 
1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
  2. **Scanner Name** バーコードをスキャンします。
  3. Scan the numeric barcode "3" "0" "4" "1" "4" "2" from the "Digit Barcodes" section in Appendix
  4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
  5. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第6章 シンボロジー

### 概要

すべてのシンボロジー（バーコードタイプ）には、独自の属性があります。本章では、スキャナーがさまざまなシンボロジーを識別できるように設定するためのプログラミングバーコードについて説明します。スキャナーの性能向上のため、ほとんど使用しない機能を無効化することをお勧めします。

### グローバル設定

#### 全てのシンボロジーを有効化/無効化

**Disable All Symbologies**（全てのシンボロジーを無効化）機能を有効すると、スキャナーはプログラミングバーコード以外のバーコードを読み取ることができなくなります。



@ALLENA1

Enable All Symbologies（全てのシンボロジーを有効化）



@ALLENA0

Disable All Symbologies（全てのシンボロジーを無効化）

#### 1次元シンボロジーを有効化/無効化



@ALL1DC1

Enable 1D Symbologies（1次元シンボロジーを有効化）



@ALL1DC0

Disable 1D Symbologies（1次元シンボロジーを無効化）



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### 2次元シンボロジーを有効化/無効化



@ALL2DC1

Enable 2D Symbolologies (2次元シンボロジーを有効化)



@ALL2DC0

Disable 2D Symbolologies (2次元シンボロジーを無効化)

### 郵便用シンボロジーを有効化/無効化



@ALLPST1

Enable Postal Symbolologies (郵便用シンボロジーを有効化)



@ALLPST0

Disable Postal Symbolologies (郵便用シンボロジーを無効化)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 128

工場出荷時設定に戻す



@128DEF

Restore the Factory Defaults of Code 128 (Code 128の工場出荷時設定に戻す)

## Code 128を有効化/無効化



@128ENA1

\*\* Enable Code 128 (Code 128を有効化)



@128ENA0

Disable Code 128 (Code 128を無効化)



スキャナーがCode 128バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Code 128**をスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 128の長さを調節

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のCode 128バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを調節する必要があります。



Set the Minimum Length (最小長さ設定 初期設定: 1)



Set the Maximum Length (最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCode 128バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCode 128バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCode 128バーコードをデコードするように設定する方法:

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## EAN-8

工場出荷時設定に戻す



@EA8DEF

Restore the Factory Defaults of EAN-8 (EAN-8の工場出荷時設定に戻す)

EAN-8を有効化/無効化



@EA8ENA1

\*\* Enable EAN-8 (EAN-8を有効化)



@EA8ENA0

Disable EAN-8 (EAN-8を無効化)



スキャナーがEAN-8バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable EAN-8**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

### チェックキャラクタを送信

EAN-8は長さが8桁であり、末尾の1文字はデータの整合性を検証するチェックキャラクタです。



**\*\* Transmit EAN-8 Check Character**  
(EAN-8のチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit EAN-8 Check Character**  
(EAN-8のチェックキャラクタを送信しない)

### 2桁のアドオンコード

EAN-8バーコードは2桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所が EAN-8バーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が2桁のアドオンコードです。



**\*\* Disable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを無効化)



**Enable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを有効化)



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup



**Disable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを無効化)** : EAN-8に2桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはEAN-8 バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。2桁のアドオンコードがないEAN-8バーコードもデコードすることができます。

**Enable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは2桁のアドオンコードがあるEAN-8バーコードとアドオンコードがないEAN-8バーコードのどちらもデコードします。

### 5桁のアドオンコード

EAN-8バーコードは5桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所がEAN-8バーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が5桁のアドオンコードです。



**\*\* Disable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを無効化)



**Enable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを有効化)



**Disable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを無効化)** : EAN-8に5桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはEAN-8 バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。5桁のアドオンコードがないEAN-8バーコードもデコードすることができます。

**Enable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは5桁のアドオンコードがあるEAN-8バーコードとアドオンコードがないEAN-8バーコードのどちらも読み取ります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

**Enter Setup**

---



@SETUPE1

**Enter Setup**



#SETUPE1  
Enter Setup

## アドオンコードをリクエスト

**EAN-8 Add-On Code Required (EAN-8のアドオンコードをリクエスト)** を選択すると、スキャナーはアドオンコード付きのEAN-8バーコードのみ読み取ります。



**\*\* EAN-8 Add-On Code Not Required**  
(EAN-8のアドオンコードをリクエストしない)



**EAN-8 Add-On Code Required**  
(EAN-8のアドオンコードをリクエストする)

## EAN-8からEAN-13へ変換

**Convert EAN-8 to EAN-13 (EAN-8からEAN-13へ変換)** : EAN-8のデコードデータを送信前にEAN-13形式へ変換します。

変換後、データはEAN-13形式に準拠し、EAN-13のプログラミングの選択 (チェックキャラクタなど) に影響を受けます。

**Do Not Convert EAN-8 to EAN-13 (EAN-8からEAN-13へ変換しない)** : EAN-8のデコードデータは変換されず、EAN-8形式で送信されます。



**\*\* Do Not Convert EAN-8 to EAN-13**  
(EAN-8からEAN-13へ変換しない)



**Convert EAN-8 to EAN-13**  
(EAN-8からEAN-13へ変換する)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## EAN-13

工場出荷時設定に戻す



@E13DEF

Restore the Factory Defaults of EAN-13  
(EAN-13の工場出荷時設定に戻す)

EAN-13を有効化/無効化



@E13ENA1

\*\* Enable EAN-13

(EAN-13を有効化)



@E13ENA0

Disable EAN-13

(EAN-13を無効化)



スキャナーがEAN-13バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable EAN-13** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタを送信



@E13CHK2

**\*\* Transmit EAN-13 Check Character**  
(EAN-13チェックキャラクタを送信)



@E13CHK1

**Do Not Transmit EAN-13 Check Character**  
(EAN-13チェックキャラクタを送信しない)

## 2桁のアドオンコード

EAN-13バーコードは2桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所が EAN-13バーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が2桁のアドオンコードです。



@E13AD20

**\*\* Disable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを無効化)



@E13AD21

**Enable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを有効化)



**Disable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを無効化)** : EAN-13に2桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはEAN-13 バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

2桁のアドオンコードがないEAN-13バーコードもデコードすることができます。

**Enable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは2桁のアドオンコードがあるEAN-13バーコードとアドオンコードがないEAN-13バーコードのどちらもデコードします。

### 5桁のアドオンコード

EAN-13バーコードは5桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所が EAN-13バーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が5桁のアドオンコードです。



@E13AD50

**\*\* Disable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを無効化)



@E13AD51

**Enable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを有効化)



**Disable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを無効化)** : EAN-13に5桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはEAN-13バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。5桁のアドオンコードがないEAN-13バーコードもデコードすることができます。

**Enable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは5桁のアドオンコードがあるEAN-13バーコードとアドオンコードがないEAN-13バーコードのどちらも読み取ります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## アドオンコードをリクエスト

EAN-13 Add-On Code Required (EAN-13のアドオンコードをリクエスト) を選択すると、スキャナーはアドオンコード付きのEAN-13バーコードのみ読み取ります。



**\*\* EAN-13 Add-On Code Not Required**  
(EAN-13のアドオンコードをリクエストしない)



**EAN-13 Add-On Code Required**  
(EAN-13のアドオンコードをリクエスト)

## 290で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「290」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード(2桁または5桁)をリクエストするようにスキャナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code (アドオンコードをリクエストする)**: EAN-13バーコードが全て「290」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code (アドオンコードをリクエストしない)**: Require Add-On Codeを選択後、この機能を無効化する場合、Do Not Require Add-On Codeをスキャンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



**\*\* Do Not Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストしない)



**Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストする)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

### 378/379で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「378」または「379」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキャナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code**（アドオンコードをリクエストする）:EAN-13バーコードが全て「378」または「379」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストです。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code**（アドオンコードをリクエストしない）: **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキャンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E133780

**\*\* Do Not Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストしない）



@E133781

**Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストする）



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

#### 414/419で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「414」または「419」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキャナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストする）** : EAN-13バーコードが全て「414」または「419」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストしない）** : **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキャンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E134140

**\*\* Do Not Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストしない)



@E134141

**Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストする)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

#### 434/439で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「434」または「439」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキャナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストする）** :EAN-13バーコードが全て「434」または「439」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストしない）** : **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキャンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E134340

**\*\* Do Not Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストしない)



@E134341

**Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストする)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 977で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「977」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキヤナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストする）** :EAN-13バーコードが全て「977」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストしない）** : **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキヤンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E139770

**\*\* Do Not Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストしない）



@E139771

**Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストする）



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### 978で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「978」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキヤナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストする）** :EAN-13バーコードが全て「978」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストしない）** : **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキヤンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E139780

**\*\* Do Not Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストしない）



@E139781

**Require Add-On Code**

（アドオンコードをリクエストする）



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 979で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト

この設定は、「979」で始まるEAN-13バーコードにアドオンコード（2桁または5桁）をリクエストするようにスキヤナーをプログラムします。以下の設定をプログラムできます。

**Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストする）** : EAN-13バーコードが全て「979」で始まる場合、2桁または5桁のアドオンコードをリクエストします。アドオンコード付きのEAN-13バーコードが送信されます。必要なアドオンコードが見つからない場合、EAN-13バーコードは破棄されます。

**Do Not Require Add-On Code（アドオンコードをリクエストしない）** : **Require Add-On Code**を選択後、この機能を無効化する場合、**Do Not Require Add-On Code**をスキヤンします。EAN-13バーコードが「Add-On Code Required」機能の選択に応じて処理されます。



@E139790

**\*\* Do Not Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストしない)



@E139791

**Require Add-On Code**  
(アドオンコードをリクエストする)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## UPC-E

工場出荷時設定に戻す



@UPEDEF

Restore the Factory Defaults of UPC-E (UPC-Eの工場出荷時設定に戻す)

UPC-Eを有効化/無効化



@UPEENA1

\*\* Enable UPC-E (UPC-Eを有効化)



@UPEEN01

\*\* Enable UPC-E0 (UPC-E0を有効化)



@UPEEN11

Enable UPC-E1 (UPC-E1を有効化)



@UPEENA0

Disable UPC-E (UPC-Eを無効化)



@UPEEN00

Disable UPC-E0 (UPC-E0を無効化)



@UPEEN10

\*\*Disable UPC-E1 (UPC-E1を有効化)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
**Enter Setup**

---



スキャナーが**UPC-E/UPC-E0/UPC-E1**バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードを  
スキャン後、**Enable UPC-E/UPC-E0/UPC-E1**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
**Exit Setup**



#SETUPE1

Enter Setup

### チェックキャラクタを送信

UPC-Eは長さが8桁であり、末尾の1文字はデータの整合性を検証するチェックキャラクタです。



@UPECHK2

**\*\* Transmit UPC-E Check Character**

(UPC-Eチェックキャラクタを送信)



@UPECHK1

**Do Not Transmit UPC-E Check Character**  
(UPC-Eチェックキャラクタを送信しない)

### 2桁のアドオンコード

UPC-Eバーコードは2桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所がUPC-Eバーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が2桁のアドオンコードです。



@UPEAD20

**\*\* Disable 2-Digit Add-On Code**

(2桁のアドオンコードを無効化)



@UPEAD21

**Enable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを有効化)



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

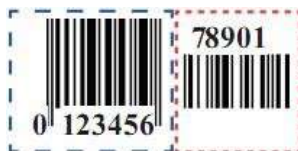


**Disable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを無効化)** : UPC-Eに2桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはUPC-E バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。2桁のアドオンコードがないUPC-Eバーコードもデコードすることができます。

**Enable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは2桁のアドオンコードがあるUPC-EバーコードとアドオンコードがないUPC-Eバーコードのどちらもデコードします。

### 5桁のアドオンコード

UPC-Eバーコードは5桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所がUPC-Eバーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が5桁のアドオンコードです。



**\*\* Disable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを無効化)



**Enable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを有効化)



**Disable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを無効化)** : UPC-Eに5桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはUPC-Eバーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。5桁のアドオンコードがないUPC-Eバーコードもデコードすることができます。

**Enable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは5桁のアドオンコードがあるUPC-EバーコードとアドオンコードがないUPC-Eバーコードのどちらも読み取ります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

### アドオンコードをリクエスト

**UPC-E Add-On Code Required** (UPC-Eのアドオンコードをリクエスト) を選択すると、スキャナーはアドオンコード付きのUPC-Eバーコードのみ読み取ります。



@UPAREQ0

**\*\* UPC-E Add-On Code Not Required**  
(UPC-Eアドオンコードをリクエストしない)



@UPAREQ1

**UPC-E Add-On Code Required**  
(UPC-Eアドオンコードをリクエストする)

### プリアンブルキャラクタを送信

プリアンブルキャラクタ (国コードとシステムキャラクタ) は、UPC-E バーコードの一部として送信できます。UPC-Eプリアンブルをホスト機器に送信する際、システムキャラクタのみ、システムキャラクタと国コード (アメリカは「0」)、プリアンブルキャラクタなしのいずれかの送信方法を選択します。



@UPEPRE1

**\*\* System Character** (システムキャラクタ)



@UPEPRE0

**No Preamble** (プリアンブルキャラクタなし)



@UPEPRE2

**System Character & Country Code** (システムキャラクタ&国コード)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## UPC-EからUPC-Aへ変換

**Convert UPC-E to UPC-A (UPC-EからUPC-Aへ変換)** : UPC-E(ゼロサブレス)のデコードデータを送信前にUPC-A形式へ変換します。変換後、データはUPC-A形式に準拠し、UPC-Aのプログラミングの選択 (プリアンブル、チェックキャラクタなど) に影響を受けます。

**Do Not Convert UPC-E to UPC-A (UPC-EからUPC-Aへ変換しない)** : UPC-Eのデコードデータは変換されず、UPC-E形式で送信されます。



@UPEEXP0

**\*\* Do Not Convert UPC-E to UPC-A**  
(UPC-EからUPC-Aへ変換しない)



@UPEEXP1

**Convert UPC-E to UPC-A**  
(UPC-EからUPC-Aへ変換)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## UPC-A

工場出荷時設定に戻す



@UPADEF

Restore the Factory Defaults of UPC-A (UPC-Aの工場出荷時設定に戻す)

UPC-Aを有効化/無効化



@UPAENA1

\*\* Enable UPC-A (UPC-Aを有効化)



@UPAENA0

Disable UPC-A (UPC-Aを無効化)



スキャナーがUPC-Aバーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable UPC-A** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。

チェックキャラクタを送信

UPC-Aは長さが13桁であり、末尾の1文字はデータの整合性を検証するチェックキャラクタです。



@UPACHK2

\*\* Transmit UPC-A Check Character (UPC-Aチェックキャラクタを送信)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@UPACHK1

**Do Not Transmit UPC-A Check Character**  
(UPC-Aチェックキャラクタを送信しない)

## 2桁のアドオンコード

UPC-Aバーコードは2桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所が UPC-Aバーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が2桁のアドオンコードです。



@UPAAD20

**\*\* Disable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを無効化)



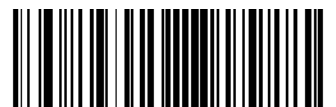
@UPAAD21

**Enable 2-Digit Add-On Code**  
(2桁のアドオンコードを無効化)



**Disable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを無効化)** : UPC-Aに2桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはUPC-A バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。2桁のアドオンコードがないUPC-Aバーコードもデコードすることができます。

**Enable 2-Digit Add-On Code (2桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは2桁のアドオンコードがあるUPC-AバーコードとアドオンコードがないUPC-Aバーコードのどちらもデコードします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

### 5桁のアドオンコード

UPC-Aバーコードは5桁のアドオンコードで増強され、新たに形成できます。以下の例の場合、青い点線で囲まれた箇所が UPC-Aバーコードであり、赤い点線で囲まれた箇所が5桁のアドオンコードです。



@UPAAD50

**\*\* Disable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを無効化)



@UPAAD51

**Enable 5-Digit Add-On Code**  
(5桁のアドオンコードを有効化)



**Disable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを無効化)** : UPC-Aに5桁のアドオンコードが付属している場合、スキャナーはUPC-A バーコードをデコードし、アドオンコードを無視します。5桁のアドオンコードがないUPC-Aバーコードもデコードすることができます。

**Enable 5-Digit Add-On Code (5桁のアドオンコードを有効化)** : スキャナーは5桁のアドオンコードがあるUPC-AバーコードとアドオンコードがないUPC-Aバーコードのどちらも読み取ります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

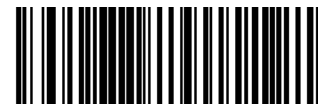
## アドオンコードをリクエスト

UPC-A Add-On Code Required (UPC-Aのアドオンコードをリクエスト) を選択すると、スキャナーはアドオンコード付きのUPC-Aバーコードのみ読み取ります



@UPAREQ0

\*\* UPC-A Add-On Code Not Required (UPC-Aのアドオンコードをリクエストしない)



@UPAREQ1

UPC-A Add-On Code Required (UPC-Aのアドオンコードをリクエストする)

## プリアンブルキャラクタを送信

プリアンブルキャラクタ (国コードとシステムキャラクタ) は、UPC-A バーコードの一部として送信できます。UPC-Aプリアンブルをホスト機器に送信する際、システムキャラクタのみ、システムキャラクタと国コード (アメリカは「0」)、プリアンブルキャラクタなしのいずれかの送信方法を選択します。



@UPAPRE0

No Preamble (プリアンブルキャラクタなし)



@UPAPRE1

\*\* System Character (システムキャラクタ)



@UPAPRE2

System Character & Country Code (システムキャラクタ&国コード)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## クーポンコード

### 拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13

以下の3種類のクーポンコード + 拡張クーポンコードに対応しています。

1. UPC-A (先頭が「5」) + GS1-128
2. UPC-A (先頭が「5」) + GS1 Databar
3. EAN-13 (先頭が「99」) + GS1-128

以下の適切なバーコードを使用して拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13を有効化/無効化します。初期設定をオフ(Off)にすると、スキャナーはクーポンコードおよび拡張クーポンコードを単一のバーコードとして処理します。

**Allow Concatenation (連結を許可)**コードをスキャンする場合、スキャナーが1度のスキャンでクーポンコードと拡張クーポンコードを認識すると、別々のシンボロジーとして両方とも送信します。そのほかの場合、読み込んだ最初のクーポンコードを送信します。

**Require Concatenation(連結をリクエスト)**コードをスキャンする場合、スキャナーはクーポンコードと拡張クーポンコードを1度のスキャンで読み取り、データを送信する必要があります。両方のコードが読み取られないとデータは出力されません。



@CPNENA0

\*\* Off (オフ)



@CPNENA1

Allow Concatenation (連結を許可)



@CPNENA2

Require Concatenation (連結をリクエスト)



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup



UPC-Aクーポン機能を使用する場合、「UPC-A プリアンブルキャラクタの送信」で**System Character** (システムキャラクタ) または **System Character & Country Code** (システムキャラクタ&国コード) を必ず選択してください。

### クーポンGS1 Databar出力

UPCコードとGS1 Databarコードを持つクーポンコードをスキャンする場合、GS1Databarコードからのデータのみ出力する場合のみ出力をリクエストできます。以下の**GS1 Output On(GS1出力オン)**バーコードをスキャン後、GS1 Databarバーコードのみスキャンしてコードデータを出力します。

**GS1 Output Off(GS1出力オフ)**が選択されている場合、UPCとGS1 Databarを含むクーポンは拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13 での選択に応じて送信されます。



\*\* GS1 Output Off(GS1出力オフ)



GS1 Output On(GS1出力オン)



UPC-Aクーポン機能を使用する場合、「UPC-A プリアンブルキャラクタの送信」で**System Character** (システムキャラクタ) または **System Character & Country Code** (システムキャラクタ&国コード) を必ず選択してください。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## インタリーブド 2 of 5

工場出荷時設定に戻す



@I25DEF

Restore the Factory Defaults of Interleaved 2 of 5  
(インタリーブド 2 of 5 の工場出荷時設定に戻す)

## インタリーブド 2 of 5 を有効化/無効化



@I25ENA1

\*\* Enable Interleaved 2 of 5  
(インタリーブド 2 of 5 を有効化)



@I25ENA0

Disable Interleaved 2 of 5  
(インタリーブド 2 of 5 を無効化)



スキャナーがインタリーブド 2 of 5 を 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Interleaved 2 of 5** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## インタリーブド 2 of 5の長さを調節

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のインタリーブド 2 of 5のみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを調節する必要があります。



@I25MIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 6)



@I25MAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 80)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つインタリーブド 2 of 5しかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのインタリーブド 2 of 5しかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のインタリーブド 2 of 5をデコードするように設定する方法:

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはインタリーブド2 of 5のオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはインタリーブド2 of 5をそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、インタリーブド2 of 5の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、インタリーブド2 of 5の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。

インタリーブド2 of 5は文字数が必ず偶数になるため、チェックキャラクタを追加する際、最初の数字の前に0を追加する必要があります。チェックキャラクタはインタリーブド2 of 5作成時に自動的に生成されます。



@I25CHK0

**\*\*Disable (無効化)**



@I25CHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)**



@I25CHK2

**Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信)**



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



**Do Not Transmit Check Character After Verification** (検証後にチェックキャラクタを送信しない) オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いインタリーブド 2 of 5はデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むインタリーブド 2 of 5は読み取られません)。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## ITF-14

ITF-14 は長さが14文字で末尾の文字がチェックキャラクタになっている特殊なインタリーブド2 of 5です。

ITF-14 priority principle(ITF-14優先原則): 長さが、14文字で末尾の文字がチェックキャラクタのインタリーブド2 of 5の場合、ITF-14 設定がインタリーブド2 of 5バーコードの設定より優先されます。

工場出荷時設定に戻す



@I14DEF

Restore the Factory Defaults of ITF-14 (ITF-14の工場出荷時設定に戻す)

ITF-14を有効化/無効化



@I14ENA0

\*\* Disable ITF-14 (ITF-14を無効化)



@I14ENA1

Enable ITF-14 But Do Not Transmit Check Character  
(ITF-14を有効化、チェックキャラクタを送信しない)



@I14ENA2

Enable ITF-14 and Transmit Check Character  
(ITF-14を有効化、チェックキャラクタを送信)



ITF-14優先原則の例: ITF-14が有効で、インタリーブド2 of 5が無効の場合、スキャナーは長さが14文字で末尾がチェックキャラクタのインタリーブド2 of 5 バーコードのみデコードします。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## ITF-6

ITF-6 は長さが6文字で末尾の文字がチェックキャラクタになっている特殊なインタリーブド2 of 5 です。

ITF-6 priority principle(ITF-6優先原則): 長さが、6文字で末尾の文字がチェックキャラクタのインタリーブド2 of 5の場合、ITF-6設定がインタリーブド2 of 5バーコードの設定より優先されます。

工場出荷時設定に戻す



@IT6DEF

Restore the Factory Defaults of ITF-6

(ITF-6の工場出荷時設定に戻す)

ITF-6を有効化/無効化



@IT6ENA0

**\*\* Disable ITF-6**  
(ITF-6を無効化)



@IT6ENA1

**Enable ITF-6 But Do Not Transmit Check Character**  
(ITF-6を有効化、チェックキャラクタを送信しない)



@IT6ENA2

**Enable ITF-6 and Transmit Check Character**  
(ITF-6を有効化、チェックキャラクタを送信)



ITF-6優先原則の例: ITF-6が有効で、インタリーブド2 of 5が無効の場合、スキャナーは長さが6文字で末尾がチェックキャラクタのインタリーブド2 of 5バーコードのみデコードします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Matrix 2 of 5

工場出荷時設定に戻す



@M25DEF

Restore the Factory Defaults of Matrix 2 of 5  
(Matrix 2 of 5の工場出荷時設定に戻す)

## Matrix 2 of 5を有効化/無効化



@M25ENA1

\*\* Enable Matrix 2 of 5  
(Matrix 2 of 5を有効化)



@M25ENA0

Disable Matrix 2 of 5  
(Matrix 2 of 5を無効化)



スキャナーがMatrix 2 of 5バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Matrix 2 of 5**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## Matrix 2 of 5の長さを調節

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のMatrix 2 of 5バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@M25MIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 4)



@M25MAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 80)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つMatrix 2 of 5バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのMatrix 2 of 5バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のMatrix 2 of 5バーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはMatrix 2 of 5のオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはMatrix 2 of 5をそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、Matrix 2 of 5の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、Matrix 2 of 5の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。

Matrix 2 of 5は文字数が必ず偶数になるため、チェックキャラクタを追加する際、最初の数字の前に0を追加する必要があります。チェックキャラクタはインタリーブド 2 of 5作成時に自動的に生成されます。



@M25CHK0

\*\* Disable (無効化)



@M25CHK1

Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@M25CHK2

Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いMatrix 2 of 5バーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むMatrix 2 of 5バーコードは読み取られません)。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 39

工場出荷時設定に戻す



@C39DEF

Restore the Factory Defaults of Code 39  
(Code 39の工場出荷時設定に戻す)

Code 39を有効化/無効化



@C39ENA1

\*\* Enable Code 39

(Code 39を有効化)



@C39ENA0

Disable Code 39

(Code 39を無効化)



スキャナーがCode 39バーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Code 39バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## Code 39の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のCode 39バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@C39MIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@C39MAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCode 39バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCode 39バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCode 39バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはCode 39のオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはCode 39をそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、Code 39の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、Code 39の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@C39CHK0

\*\* Disable (無効化)



@C39CHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@C39CHK2

**Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いCode 39バーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むCode 39バーコードは読み取られません)。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

### スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信

Code 39 は文字の先頭とストップキャラクタにアスタリスク(\*)を使用します。以下の適切なバーコードをスキャンしてスタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信するか選択することができます。



@C39TSC0

**\*\* Do Not Transmit Start/Stop Character**

(スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信しない)



@C39TSC1

**Transmit Start/Stop Character**

(スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信)

### Code 39 フルアスキーを有効化/無効化

スキャナーは以下の適切なバーコードをスキャンして全てのアスキーキャラクタを特定するよう設定できます。



@C39ASC0

**\*\* Disable Code 39 Full ASCII**

(Code 39フルアスキーを無効化)



@C39ASC1

**Enable Code 39 Full ASCII**

(Code 39フルアスキーを無効化)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Code 32 (イタリア製薬業界用コード)を有効化/無効化

Code 32は、イタリアの製薬業界で使用されているCode 39の一種です。以下の適切なバーコードをスキャンして、Code 32を有効化または無効化します。このパラメータが機能するためには、Code 39 を有効化し、Code 39 チェックキャラクター認証を無効化する必要があります。



@C39E320

**\*\* Disable Code 32**

(Code 32を無効化)



@C39E321

**Enable Code 32**

(Code 32を有効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Code 32 プリフィックス

以下の適切なバーコードをスキャンして、すべての Code 32 バーコードにプリフィックス「A」の追加を有効化または無効化します。このパラメータが機能するには、Code 32 を有効化する必要があります。



@C39S320  
**\*\* Disable Code 32 Prefix**  
(Code 32 プリフィックスを無効化)



@C39S321  
**Enable Code 32 Prefix**  
(Code 32 プリフィックスを有効化)

## Code 32 スタートキャラクタ/ストップキャラクタの送信

Code 32が機能するためには、このパラメータを有効化する必要があります。



@C39T320  
**\*\* Do Not Transmit Code 32 Start/Stop Character**  
(Code 32 スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信しない)



@C39T321  
**Transmit Code 32 Start/Stop Character**  
(Code 32 スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信)



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

---

### Code 32 チェックキャラクタを送信

Code 32が機能するためにはこのパラメータを有効化する必要があります。



@C39C320

**\*\* Do Not Transmit Code 32 Check Character**  
(Code 32チェックキャラクタを送信しない)



@C39C321

**Transmit Code 32 Check Character**  
(Code 32チェックキャラクタを送信)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## Codabar

工場出荷時設定に戻す



@CBADEF

Restore the Factory Defaults of Codabar

(Codabarを工場出荷時に戻す)

## Codabarを有効化/無効化



@CBAENA1

\*\* Enable Codabar

(Codabarを有効化)



@CBAENA0

Disable Codabar

(Codabarを無効化)



スキャナーがCodabarバーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Codabar**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Codabarの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のCodabarバーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length (最小長さ設定 初期設定: 2)



Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 60)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCodabarバーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCodabarバーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCodabarバーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはCodabarのオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはCodabarをそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、Codabarの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、Codabarの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@CBACHK0

\*\* Disable (無効化)



@CBACHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)**



@CBACHK2

**Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信)**



**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いCodabarバーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むCodabarバーコードは読み取られません)。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## スタート/ストップキャラクタ

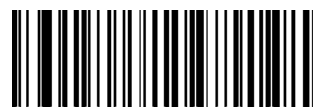
以下の適切なバーコードをスキャンしてスタートキャラクタ/ストップキャラクタを設定後、送信するか選択することができます。



@CBATSC0

**\*\* Do Not Transmit Start/Stop Character**

(スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信しない)



@CBATSC1

**Transmit Start/Stop Character**

(スタートキャラクタ/ストップキャラクタを送信)



@CBASCF0

**\*\* ABCD/ABCD as the Start/Stop Character**

(ABCD/ABCDをスタートキャラクタ/ストップキャラクタに設定)



@CBASCF1

**ABCD/TN\*E as the Start/Stop Character**

(ABCD/TN\*Eをスタートキャラクタ/ストップキャラクタに設定)



@CBASCF2

**abcd/abcd as the Start/Stop Character**

(abcd/abcdをスタートキャラクタ/ストップキャラクタに設定)



@CBASCF3

**abcd/tn\*e as the Start/Stop Character**

(abcd/tn\*eをスタートキャラクタ/ストップキャラクタに設定)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Code 93

工場出荷時設定に戻す



@C93DEF

Restore the Factory Defaults of Code 93  
(Code 93の工場出荷時設定に戻す)

## Code 93を有効化/無効化



@C93ENA1

Enable Code 93  
(Code 93を有効化)



@C93ENA0

\*\* Disable Code 93  
(Code 93を無効化)



スキャナーがCode 93バーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Code 93バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 93の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のCode 93バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCode 93バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCode 93バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCode 93バーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはCode 93のオプションであり、最後の2文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはCode 93をそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、Code 93の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、Code 93の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@C93CHK0

Disable (無効化)



@C93CHK1

**\*\* Do Not Transmit Check Character After Verification**

(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@C93CHK2

**Transmit Check Character After Verification**

(検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いCode 93バーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むCode 93バーコードは読み取られません)。



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## China Post 25

工場出荷時設定に戻す



@CHPDEF

Restore the Factory Defaults of China Post 25  
(China Post 25の工場出荷時設定に戻す)

## China Post 25を有効化/無効化



@CHPEN A1

Enable China Post 25

(China Post 25を有効化)



@CHPEN A0

\*\* Disable China Post 25

(China Post 25を無効化)



スキャナーがChina Post 25バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable China Post 25**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## China Post 25の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のChina Post 25バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@CHPMIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@CHPMAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つChina Post 25バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのChina Post 25バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のChina Post 25バーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはChina Post 25のオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable（無効化）**：スキャナーはChina Post 25をそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification（検証後にチェックキャラクタを送信しない）**：スキャナーは、China Post 25の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification（検証後にチェックキャラクタを送信）**：スキャナーは、China Post 25の整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@CHPCHK0  
\*\* Disable（無効化）



@CHPCHK1  
**Do Not Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@CHPCHK2  
**Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification（検証後にチェックキャラクタを送信しない）** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いChina Post 25バーコードはデコードされません（例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むChina Post 25バーコードは読み取られません）。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## GS1-128 (UCC/EAN-128)

工場出荷時設定に戻す



@GS1DEF

Restore the Factory Defaults of GS1-128  
(GS1-128の工場出荷時設定に戻す)

## GS1-128を有効化/無効化



@GS1ENA1

\*\* Enable GS1-128

(GS1-128を有効化)



@GS1ENA0

Disable GS1-128

(GS1-128を無効化)



スキャナーがGS1-128バーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable GS1-128バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## GS1-128の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のGS1-128バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@GS1MIN

### Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@GS1MAX

### Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つGS1-128バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのGS1-128バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のGS1-128バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## GS1 Databar (RSS)

工場出荷時設定に戻す



@RSSDEF

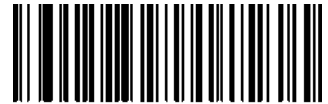
Restore the Factory Defaults of GS1 Databar  
(GS1 Databarの工場出荷時設定に戻す)

## GS1 Databarを有効化/無効化



@RSSENA1

\*\* Enable GS1 Databar  
(GS1 Databarを有効化)



@RSSENA0

Disable GS1 Databar  
(GS1 Databarを無効化)



スキャナーがGS1 Databarバーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable GS1 Databarバーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

アプリケーション識別子 (01) を送信



@RSSTA1

**\*\* Transmit Application Identifier "01"**

(アプリケーション識別子 (01) を送信)



@RSSTA10

**Do Not Transmit Application Identifier "01"**

(アプリケーション識別子 (01) を送信しない)

## GS1 Composite (EAN-UCC Composite)

工場出荷時設定に戻す



@CPTDEF

**Restore the Factory Defaults of GS1 Composite**

(GS1 Compositeを工場出荷時設定に戻す)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

### GS1 Compositeを有効化/無効化



@CPTENA1

Enable GS1 Composite  
(GS1 Compositeを有効化)



@CPTENA0

\*\* Disable GS1 Composite  
(GS1 Compositeを無効化)



スキャナーがGS1 Compositeバーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable GS1 Composite**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。

### UPC/EAN Compositeを有効化/無効化



@CPTUPC1

Enable UPC/EAN Composite  
(UPC/EAN Compositeを有効化)



@CPTUPC0

\*\* Disable UPC/EAN Composite  
(UPC/EAN Compositeを無効化)



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 11

工場出荷時設定に戻す



@C11DEF

Restore the Factory Defaults of Code 11  
(Code 11の工場出荷時設定に戻す)

## Code 11を有効化/無効化



@C11ENA1

\*\* Enable Code 11  
(Code 11を有効化)



@C11ENA0

Disable Code 11  
(Code 11を無効化)



スキャナーがCode 11バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Code 11**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code 11の長さを設定

スキャナーがCode 11バーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Code 11バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@C11MIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 4)



@C11MAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCode 11バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCode 11バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCode 11バーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはCode 11のオプションであり、最後の2文字として追加することができる、データの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** オプションが有効の場合、スキャナーはCode 11バーコードをそのまま送信します。



@C11CHK0  
Disable (無効化)



@C11CHK1  
\*\* One Check Character, MOD11  
(1種のチェックキャラクタ、MOD11)



@C11CHK2  
Two Check Characters, MOD11/MOD11  
(2種のチェックキャラクタ、MOD11/MOD11)



@C11CHK3  
Two Check Characters, MOD11/MOD9  
(2種のチェックキャラクタ、MOD11/MOD9)



@C11CHK4  
One Check Character, MOD11 (Len<=10) Two Check Characters, MOD11/MOD11(Len>10)  
(1種のチェックキャラクタ、MOD11 (Len<=10) 2種のチェックキャラクタ、MOD11/MOD11(Len>10))



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@C11CHK5

One Check Character, MOD11 (Len<=10) Two Check Characters, MOD11/MOD9 (Len>10)  
(1種のチェックキャラクタ、MOD11 (Len<=10) 2種のチェックキャラクタ、MOD11/MOD9(Len>10))

チェックキャラクタを送信



@C11TCK0

\*\* Do Not Transmit Code 11 Check Character  
(Code 11 チェックキャラクタを送信しない)



@C11TCK1

Transmit Code 11 Check Character  
(Code 11 チェックキャラクタを送信)



チェックキャラクタのアルゴリズムと **Do Not Transmit Check Character** (チェックキャラクタを送信しない) オプションを選択すると、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短い Code 11バーコードはデコードされません (例えば、**One Check Character**、**MOD11**、**Do Not Transmit Check Character**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むCode 11は読み取られません)。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## ISBN

工場出荷時設定に戻す



@ISBDEF

Restore the Factory Defaults of ISBN  
(ISBNの工場出荷時設定に戻す)

ISBNを有効化/無効化



@ISBENA1

Enable ISBN  
(ISBNを有効化)



@ISBENA0

\*\*Disable ISBN  
(ISBNを無効化)



スキャナーがISBNバーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable ISBNバーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

### ISBN フォーマットを設定



@ISBT101  
\*\* ISBN-10



@ISBT100  
ISBN-13



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## ISSN

工場出荷時設定に戻す



@ISSDEF

Restore the Factory Defaults of ISSN  
(ISSNの工場出荷時設定に戻す)

ISSNを有効化/無効化



@ISSENA1

Enable ISSN  
(ISSNを有効化)



@ISSENA0

\*\* Disable ISSN  
(ISSNを有効化)



スキャナーがISSNバーコードを特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、  
Enable ISSNバーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## インダストリアル 25

工場出荷時設定に戻す



@L25DEF

Restore the Factory Defaults of Industrial 25

(インダストリアル 25の工場出荷時設定に戻す)

インダストリアル 25を有効化/無効化



@L25ENA1

Enable Industrial 25

(インダストリアル 25を有効化)



@L25ENA0

\*\*Disable Industrial 25

(インダストリアル 25を無効化)



スキャナーがインダストリアル 25バーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Industrial 25**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## インダストリアル25の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のインダストリアル25バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 6)



Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つインダストリアル25バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのインダストリアル25バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のインダストリアル25バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはインダストリアル 25バーコードのオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはインダストリアル25バーコードをそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、インダストリアル25バーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、インダストリアル25バーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@L25CHK0

\*\* Disable (無効化)



@L25CHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@L25CHK2

**Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification (認証後チェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いインダストリアル25バーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むインダストリアル25バーコードは読み取られません)。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## スタンダード 25

工場出荷時設定に戻す



@S25DEF

Restore the Factory Defaults of Standard 25  
(スタンダード25の工場出荷時設定に戻す)

スタンダード 25を有効化/無効化



@S25ENA1

Enable Standard 25  
(スタンダード 25を有効化)



@S25ENA0

\*\* Disable Standard 25  
(スタンダード 25を無効化)



スキャナーがスタンダード25バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Standard 25バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## スタンダード25

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のスタンダード25バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@S25MIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 6)



@S25MAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つスタンダード25バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのスタンダード25バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8～12文字のスタンダード25バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはスタンダード25バーコードのオプションであり、最後の文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable (無効化)** : スキャナーはスタンダード25バーコードをそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信しない)** : スキャナーは、スタンダード25バーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification (検証後にチェックキャラクタを送信)** : スキャナーは、スタンダード25バーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@S25CHK0

\*\* Disable (無効化)



@S25CHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@S25CHK2

**Transmit Check Character After Verification**  
(検証後にチェックキャラクタを送信)



**Do Not Transmit Check Character After Verification (認証後チェックキャラクタを送信しない)** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いスタンダード25バーコードはデコードされません (例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むスタンダード25バーコードは読み取られません)。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Plessey

工場出荷時設定に戻す



@PLYDEF

Restore the Factory Defaults of Plessey  
(Plesseyの工場出荷時設定に戻す)

Plesseyを有効化/無効化



@PLYENA1

Enable Plessey  
(Plesseyを有効化)



@PLYENA0

\*\* Disable Plessey  
(Plesseyを無効化)



スキャナーがPlesseyバーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Plessey**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Plesseyの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のPlesseyバーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 4)



Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つPlesseyバーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのPlesseyバーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のPlesseyバーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはPlesseyバーコードのオプションであり、最後の2文字として追加できるデータの整合性検証使用の計算値です。

**Disable（無効化）**：スキャナーはスタンダード25バーコードをそのまま送信します。

**Do Not Transmit Check Character After Verification（検証後にチェックキャラクタを送信しない）**：スキャナーは、Plesseyバーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに対応しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは最後の桁を除いて送信されますが、チェックを失敗したバーコードは送信されません。

**Transmit Check Character After Verification（検証後にチェックキャラクタを送信）**：スキャナーは、Plesseyバーコードの整合性を全てチェックして、データがチェックキャラクタのアルゴリズムに準拠しているかどうかを検証します。チェックに合格したバーコードは送信されますが、チェックに失敗したバーコードは送信されません。



@PLYCHK0

\*\* Disable（無効化）



@PLYCHK1

**Do Not Transmit Check Character After Verification  
（検証後にチェックキャラクタを送信しない）**



@PLYCHK2

**Transmit Check Character After Verification  
（検証後にチェックキャラクタを送信）**



**Do Not Transmit Check Character After Verification（認証後チェックキャラクタを送信しない）** オプションが有効の場合、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いPlesseyバーコードはデコードされません（例えば、**Do Not Transmit Check Character After Verification**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むCheck Characterバーコードは読み取られません）。



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## MSI-Plessey

工場出荷時設定に戻す



@MSIDEF

Restore the Factory Defaults of MSI-Plessey  
(MSI-Plesseyの工場出荷時設定に戻す)

MSI-Plesseyを有効化/無効化



@MSIENA1

Enable MSI-Plessey  
(MSI-Plesseyを有効化)



@MSIENA0

\*\*Disable MSI-Plessey  
(MSI-Plesseyを無効化)



スキャナーがMSI-Plesseyバーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、  
Enable MSI-Plesseyバーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## MSI-Plesseyの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のMSI-Plesseyバーコードのみデコードするように設定できます。これを行うためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 4)



Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つMSI-Plesseyバーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのMSI-Plesseyバーコードしかデコードしません。

# E xample

スキャナーが8~12文字のMSI-Plesseyバーコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## チェックキャラクタ検証

チェックキャラクタはMSI-Plesseyのオプションであり、最後の1~2文字として追加することができる、データの整合性検証使用の計算値です。

**Disable** オプションが有効の場合、スキャナーはMSI-Plesseyバーコードをそのまま送信します。



@MSICLK0  
Disable (無効化)



@MSICLK1  
\*\* One Check Character, MOD10  
(1種のチェックキャラクタ、MOD10)



@MSICLK2  
Two Check Characters, MOD10/MOD10  
(2種のチェックキャラクタ、MOD10/MOD10)



@MSICLK3  
Two Check Characters, MOD10/MOD11  
(2種のチェックキャラクタ、MOD10/MOD11)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

チェックキャラクタを送信



@MSITCK1

Transmit MSI-Plessey Check Character

(MSI-Plesseyチェックキャラクタを送信)



@MSITCK0

\*\* Do Not Transmit MSI-Plessey Check Character

(MSI-Plesseyチェックキャラクタを送信しない)



チェックキャラクタのアルゴリズムと **Do Not Transmit Check Character** (チェックキャラクタを送信しない) オプションを選択すると、チェックキャラクタを除外後の設定した最小長さより短いMSI-Plesseyバーコードはデコードされません (例えば、**One Check Character**、**MOD10**、**Do Not Transmit Check Character**のオプションが有効で最小長さが4に設定されている場合、合計長さが4でチェックキャラクタを含むMSI-Plesseyは読み取られません)。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## AIM 128

工場出荷時設定に戻す



@AIMDEF

Restore the Factory Defaults of AIM 128  
(AIM 128の工場出荷時設定に戻す)

AIM 128を有効化/無効化



@AIMENA1

Enable AIM 128  
(AIM 128を有効化)



@AIMENA0

\*\* Disable AIM 128  
(AIM 128を無効化)



スキャナーがAIM 128バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、  
Enable AIM 128バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## AIM 128の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のAIM 128バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@AIMMIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



@AIMMAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 48)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つAIM 128バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのAIM 128バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のAIM 128バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## ISBT 128

工場出荷時設定に戻す



@IBTDEF

Restore the Factory Defaults of ISBT 128  
(ISBT 128の工場出荷時設定に戻す)

## ISBT 128を有効化/無効化



@IBTENA1

Enable ISBT 128  
(ISBT 128を有効化)



@BTENA0

\*\* Disable ISBT 128  
(ISBT 128を無効化)



スキャナーがISBT 128バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、  
Enable ISBT 128バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## COOP 25

工場出荷時設定に戻す



@COPDEF  
Restore the Factory Defaults of COOP 25  
(COOP 25の工場出荷時設定に戻す)

## COOP 25を有効化/無効化



@COPENA1  
Enable COOP 25  
(COOP 25を有効化)



@COPENA0  
\*\* Disable COOP 25  
(COOP 25を無効化)



スキャナーが COOP 25 バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable COOP 25** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

### COOP 25の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のCOOP 25バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@COPMIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 4)



@COPMAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 80)



最小長さが最大長さより大きく設定されている場合、スキャナーは最小長さまたは最大長さのいずれかを持つCOOP 25バーコードしかデコードしません。最小長さと最大長さが同じ場合、その長さのCOOP 25バーコードしかデコードしません。



スキャナーが8~12文字のCOOP 25バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length** バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### チェックキャラクタ検証



@COPCHK0

\*\* Disable (無効化)



@COPCHK1

Do Not Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信しない)



@COPCHK2

Transmit Check Character After Verification  
(検証後にチェックキャラクタを送信)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## PDF417

工場出荷時設定に戻す



@PDFDEF

Restore the Factory Defaults of PDF417  
(PDF417の工場出荷時設定に戻す)

PDF417を有効化/無効化



@PDFENA1

\*\* Enable PDF417

(PDF417を有効化)



@PDFENA0

Disable PDF417

(PDF417を無効化)



スキャナーがPDF417バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、  
Enable PDF417バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## PDF417の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のPDF417バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@PDFMIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@PDFMAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 2710)



長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さのPDF417バーコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。



スキャナーが8~12文字のPDF417バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## PDF417 ツインコード

PDF417ツインコードは垂直または水平に並んだ2つのPDF417バーコードです。2つのPDF417バーコードは必ず通常または白黒反転したPDF417バーコードのどちらかになります。これらは類似した規格で互いに密接している必要があります。

PDF417ツインコードには3種類の読み取りオプションがあります。

**Single PDF417 Only (いずれかのPDF417のみ)** : いずれか一方のPDF417バーコードのみ読み取ります。

**Twin PDF417 Only(両方のPDF417のみ)** : PDF417バーコードの両方を読み取ります。

**Both Single & Twin (いずれか一方&両方)** : 両方のPDF417バーコードを読み込みます。成功すると、両方のPDF417バーコードを送信し、失敗した場合、いずれか一方のPDF417バーコードのみ送信します。



@PDFDOU0  
**\*\* Single PDF417 Only**  
(いずれかのPDF417のみ)



@PDFDOU1  
**Twin PDF417 Only**  
(両方のPDF417のみ)



@PDFDOU2  
**Both Single & Twin**  
(いずれか一方&両方)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### 白黒反転PDF417 コード

通常バーコード: 背景の色が明るく、バーの色が暗いです。白黒反転バーコード: 背景の色が暗く、バーの色が明るいです。



@PDFINV0

**\*\* Decode Regular PDF417 Barcodes Only**

(通常のPDF417バーコードのみデコード)



@PDFINV2

**Decode Both**

(両方デコード)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## 文字エンコーディング



@PDFENC0

**\*\* Default Character Encoding**  
(デフォルトの文字エンコード)



@PDFINV1

**Decode Inverse PDF417 Barcodes Only**  
(白黒反転のPDF417バーコードのみデコード)



@PDFENC1

UTF-8

## PDF417 ECI出力



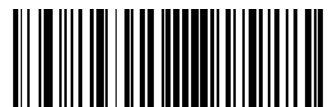
@PDFECI0

**Disable PDF417 ECI Output**  
(PDF417 ECI 出力を無効化)



@PDFECI1

**\*\* Enable PDF417 ECI Output**  
(PDF417 ECI 出力を有効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Micro PDF417

工場出荷時設定に戻す



@MPDDEF

Restore the Factory Defaults of Micro PDF417  
(Micro PDF417を工場出荷時設定に戻す)

## Micro PDF417を有効化/無効化



@MPDENA1

Enable Micro PDF417  
(Micro PDF417を有効化)



@MPDENA0

\*\* Disable Micro PDF417  
(Micro PDF417を無効化)



スキャナーがMicro PDF417バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Micro PDF417**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## Micro PDF417の長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のMicro PDF417バーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 366)



長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さのMicro PDF417バーコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。

スキャナーが8～12文字のMicro PDF417バーコードをデコードするように設定する方法



1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## QRコード

工場出荷時設定に戻す



@QRCDEF

Restore the Factory Defaults of QR Code  
(QRコードの工場出荷時設定に戻す)

## QRコードを有効化/無効化



@QRCENA1

\*\* Enable QR Code

(QRコードを有効化)



@QRCENA0

Disable QR Code

(QRコードを無効化)



スキャナーがQRコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、

**Enable QR Code** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## QRコードの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のQRコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@QRCMIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@QRMAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 7089)



スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のQRコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



スキャナーが8～12文字のQRコードをデコードするように設定する方法

1. Enter Setupバーコードをスキャンします。
2. Set the Minimum Lengthバーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
5. Set the Maximum Lengthバーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションのSaveバーコードをスキャンします。
8. Exit Setupバーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## QR ツインコード

QR ツインコードは 垂直または水平に並んだ2つのQRコードです。2つのQRコードは必ず通常または白黒反転したQRコードのどちらかになります。これらは類似した規格で互いに密接している必要があります。

QR ツインコードには3種類の読み取りオプションがあります。

**Single QR Only (いずれかのQRコードのみ)** : いずれか一方のQRコードのみ読み取ります。

**Twin QR Only(両方のQRコードのみ)** : 左 (上) のQRコードから右 (下) へ読み込みます。

**Both Single & Twin (いずれか一方&両方)** : 両方のQRコードを読み込みます。成功すると、両方のQRコードを送信し、失敗すると、いずれか一方のQRコードのみ送信します。



@QRCDU0  
**\*\* Single QR Only**  
(いずれかのQRコードのみ)



@QRCDU1  
**Twin QR Only**  
(両方のQRコードのみ)



@QRCDU2  
**Both Single & Twin**  
(いずれか一方&両方)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 白黒反転QRコード

通常バーコード: 背景の色が明るく、バーの色が暗いです。白黒反転バーコード: 背景の色が暗く、バーの色が明るいです。



@QRCINV0

**\*\* Decode Regular QR Barcodes Only**  
(通常のQRコードのみデコード)



@QRCINV2

**Decode Both**  
(両方デコード)

## 文字エンコード



@QRCENC0

**\*\* Default Character Encoding**  
(デフォルトの文字エンコード)



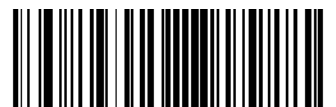
@QRCINV1

**Decode Inverse QR Barcodes Only**  
(白黒反転のQRコードのみデコード)



@QRCENC1

UTF-8



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## QR ECI 出力



@QRCECI0  
Disable QR ECI Output  
(QR ECI 出力を有効化)



@QRCECI1  
\*\* Enable QR ECI Output  
(QR ECI 出力を無効化)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Micro QRコード

工場出荷時設定に戻す



@MQRDEF

Restore the Factory Defaults of Micro QR  
(Micro QRコードの工場出荷時設定に戻す)

## Micro QRコードを有効化/無効化



@MQRENA1

\*\* Enable Micro QR  
(Micro QRを有効化)



@MQRENA0

Disable Micro QR  
(Micro QRを無効化)



スキャナーがMicro QRコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、  
**Enable Micro QR**をスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## Micro QRコードの長さを設定

スキャンが最小長さ以上、最大長さ以下のMicro QRコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@MQRMIN

Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@MQRMAX

Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 35)



最小長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さのMicro QRコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。

# E xample

スキャンが8~12文字のMicro QRコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## Aztec

工場出荷時設定に戻す



@AZTDEF

Restore the Factory Defaults of Aztec Code  
(Aztec コードの工場出荷時設定に戻す)

Aztec コードを有効化/無効化



@AZTENA1

Enable Aztec Code

(Aztec コードを有効化)



@AZTENA0

\*\* Disable Aztec Code

(Aztec コードを無効化)



スキャナーがAztec コードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Aztec Code**をスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## Aztec Codeの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のAztecコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@AZTMIN

### Set the Minimum Length

(最小長さ設定 初期設定: 1)



@AZTMAX

### Set the Maximum Length

(最大長さ設定 初期設定: 3832)



最小長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さのAztecコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。

# E

example

### Set スキャナーが8~12文字のAztecバーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 画像内の複数のバーコードの読み取り

3種類のモードがあります。

**Mode 1:** 1つのバーコードのみ読み取ります。

**Mode 2:** 決められた数のバーコードのみ読み取ります。

**Mode 3:** Mode1とMode2の組み合わせです。まず決められた数のバーコードを読み取り、失敗した場合は、1つのバーコードを読み取ります。



@AZTMOD1  
\*\* Mode 1



@AZTMOD2  
Mode 2



@AZTMOD3  
Mode 3

## 読み取るバーコード数を決定



@AZTMUL1  
\*\* 1



@AZTMUL2  
2



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@AZTMUL3

3



@AZTMUL4

4



@AZTMUL5

5



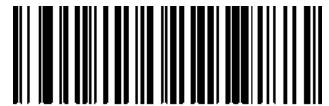
@AZTMUL6

6



@AZTMUL7

7



@AZTMUL8

8

### 文字エンコード



@AZTENC0

\*\* Default Character Encoding  
(デフォルトの文字エンコード)



@AZTENC1

UTF-8

---



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

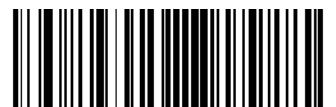
## Aztec ECI 出力



@AZTEC10  
**Disable Aztec ECI Output**  
(Aztec ECI 出力を無効化)



@AZTEC11  
**\*\* Enable Aztec ECI Output**  
(Aztec ECI 出力を有効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## データマトリックス

工場出荷時設定に戻す



@DMCDEF

Restore the Factory Defaults of Data Matrix

(データマトリックスを工場出荷時設定に戻す)

## データマトリックスを有効化/無効化



@DMCENA1

\*\* Enable Data Matrix

(データマトリックスを有効化)



@DMCENA0

Disable Data Matrix

(データマトリックスを無効化)



スキャンがデータマトリックスバーコードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Data Matrix**バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## データマトリックスの長さを設定

スキャンが最小長さ以上、最大長さ以下のデータマトリックスコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



**Set the Minimum Length**  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



**Set the Maximum Length**  
(最大長さ設定 初期設定: 3116)



最小長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さのデータマトリックスコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。



スキャンが8~12文字のデータマトリックスコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length**バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### データマトリックスツインコード

データマトリックスツインコードは垂直または水平に並んだ2つのデータマトリックスコードです。2つのデータマトリックスコードは必ず通常または白黒反転したデータマトリックスコードのどちらかになります。これらは類似した規格で互いに密接している必要があります。

データマトリックスツインコードには3種類の読み取りオプションがあります。

**Single Data Matrix Only (いずれかのデータマトリックスコードのみ)** : いずれか一方のデータマトリックスコードのみ読み取ります。

**Twin Data Matrix Only(両方のデータマトリックスコードのみ)** : 左 (上) のデータマトリックスコードから右 (下) へ読み込みます。

**Both Single & Twin (いずれか一方&両方)** : 両方のデータマトリックスコードを読み込みます。成功すると、両方のデータマトリックスコードを送信し、失敗した場合、いずれか一方のデータマトリックスコードのみ送信します。



@DMCDOU0

**\*\* Single Data Matrix Only**

(いずれかのデータマトリックスコードのみ)



@DMCDOU1

**Twin Data Matrix Only**

(両方のデータマトリックスコードのみ)



@DMCDOU2

**Both Single & Twin**

(いずれか一方&両方)



@SETUPE1

Enter Setup





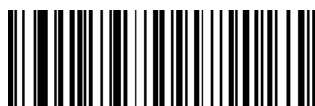
#SETUPE1  
Enter Setup

## 長方形バーコード

データマトリックスコードは2種類の形式があります。

正方形バーコードは縦と横の長さが同じバーコードです（例：10×10、12×12... 144×144）。

長方形バーコードは縦と横の長さが違うバーコードです（例：6×16、6×14...14×22）。



@DMGREC1

**\*\* Enable Rectangular Barcode**

(長方形バーコードを有効化)



@DMGREC0

**Disable Rectangular Barcode**

(長方形バーコードを無効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### 白黒反転データマトリックスコード

通常バーコード: 背景の色が明るく、バーの色が暗いです。白黒反転バーコード: 背景の色が暗く、バーの色が明るい  
です。



@DMCINV0

**\*\* Decode Regular Data Matrix Barcodes Only**

(通常のデータマトリックスコードのみ読み取り)



@DMCINV1

**Decode Inverse Data Matrix Barcodes Only**

(白黒反転のデータマトリックスコードのみ読み取り)



@DMCINV2

**Decode Both**

(両方読み取り)

### 文字エンコード



@DMGENC0

**\*\* Default Character Encoding**

(デフォルトの文字エンコード)



@DMGENC1

**UTF-8**



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## データマトリックス ECI出力



@DMCECI0

### Disable Data Matrix ECI Output

(データマトリックスコードの ECI 出力を無効化)



@DMCECI1

### \*\* Enable Data Matrix ECI Output

(データマトリックスコードの ECI 出力を有効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## Maxicode

工場出荷時設定に戻す



@MXCDEF

Restore the Factory Defaults of Maxicode

(Maxicodeの工場出荷時設定に戻す)

## Maxicodeを有効化/無効化



@MXCENA1

Enable Maxicode  
(Maxicodeを有効化)



@MXCENA0

\*\* Disable Maxicode  
(Maxicodeを無効化)



スキャンが Maxicode バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Maxicode バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Maxicodeの長さを設定

スキャンが最小長さ以上、最大長さ以下のMaxicodeバーコードのみデコードするように設定できます。  
これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@MXCMIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



@MXCMAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定:150)



スキャンが最小長さ以上、最大長さ以下の **Maxicode** バーコードのみデコードするように設定できます。  
これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



スキャンが 8～12 文字の **Maxicode** バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length** バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

**Chinese Sensible コード**  
工場出荷時設定に戻す



@CSCDEF  
Restore the Factory Defaults of Chinese Sensible Code  
(Chinese Sensible コードの工場出荷時設定に戻す)

**Chinese Sensibleコードを有効化/無効化**



@CSCENA1  
Enable Chinese Sensible Code  
(Chinese Sensibleコードを有効化)



@CSCENA0  
\*\* Disable Chinese Sensible Code  
(Chinese Sensibleコードを無効化)



Chinese Sensible コードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、  
**Enable Chinese Sensible** コードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Chinese Sensibleコードの長さを設定

スキャンが最小長さ以上、最大長さ以下のChinese Sensibleコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@CSCMIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



@CSCMAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 7827)



最小長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さの Chinese Sensible バーコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。

スキャナーが 8~12 文字の Chinese Sensible コードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length** バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。

**E**  
xample



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## Chinese Sensibleツインコード

Chinese Sensibleツインコードは垂直または水平に並んだ2つのデータマトリックスコードです。2つのChinese Sensibleコードは必ず通常または白黒反転したChinese Sensibleコードのどちらかになります。これらは類似した規格で互いに密接している必要があります。

Chinese Sensibleツインコードには3種類の読み取りオプションがあります。

**Single Chinese Sensible Code Only (いずれかのChinese Sensibleコードのみ)** : いずれか一方のChinese Sensibleコードのみ読み取ります。

**Twin Chinese Sensible Code Only(両方のChinese Sensibleコードのみ)** : 左(上)のChinese Sensibleコードから右(下)へ読み込みます。

**Both Single & Twin (いずれか一方&両方)** : 両方のChinese Sensibleコードを読み込みます。成功すると、両方のChinese Sensibleコードを送信し、失敗した場合、いずれか一方のChinese Sensibleコードのみ送信します。



@CSCDOU0

**\*\* Single Chinese Sensible Code Only**  
(いずれかのChinese Sensibleコードのみ)



@CSCDOU1

**Twin Chinese Sensible Code Only**  
(両方のChinese Sensibleコードのみ)



@CSCDOU2

**Both Single & Twin**  
(いずれか一方&両方)



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## 白黒反転Chinese Sensible ツインコード

通常バーコード: 背景の色が明るく、バーの色が暗いです。

白黒反転バーコード: 背景の色が暗く、バーの色が明るいです。



@CSCINV0

**\*\* Decode Regular Chinese Sensible Barcodes Only**  
(通常のChinese Sensibleコードのみ読み取り)



@CSCINV1

**Decode Inverse Chinese Sensible Barcodes Only**  
(白黒反転のChinese Sensibleコードのみ読み取り)



@CSCINV2

**Decode Both**  
(両方読み取り)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## USPS Postnet

工場出荷時設定に戻す



@PNTDEF

Restore the Factory Defaults of USPS Postnet  
(USPS Postnetの工場出荷時設定に戻す)

## USPS Postnetを有効化/無効化



@PNTENA1

Enable USPS Postnet  
(USPS Postnetを有効化)



@PNTENA0

\*\* Disable USPS Postnet  
(USPS Postnetを無効化)



コードを特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable USPS Postnet** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。

## チェックキャラクタを送信



@PNTCHK1

Do Not Transmit USPS Postnet Check Character  
(USPS Postnetのチェックキャラクタを送信しない)



@PNTCHK2

\*\* Transmit USPS Postnet Check Character  
(USPS Postnetのチェックキャラクタを送信)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## USPS Intelligent Mail

工場出荷時設定に戻す



@ILGDEF

Restore the Factory Defaults of USPS Intelligent Mail  
(USPS Intelligent Mailの工場出荷時設定に戻す)

## USPS Intelligent Mailを有効化/無効化



@ILGENA1

Enable USPS Intelligent Mail  
(USPS Intelligent Mailを有効化)



@ILGENA0

\*\* Disable USPS Intelligent Mail  
(USPS Intelligent Mailを無効化)



スキャナーが Royal Mail バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、

Enable USPS Intelligent Mail バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## Royal Mail

工場出荷時設定に戻す



@ROYDEF

Restore the Factory Defaults of Royal Mail  
(Royal Mailの工場出荷時設定に戻す)

## Royal Mailを有効化/無効化



@ROYENA1

Enable Royal Mail  
(Royal Mailを有効化)



@ROYENA0

\*\* Disable Royal Mail  
(Royal Mailを無効化)



スキャナーが Royal Mail バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable Royal Mail** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## USPS Planet

工場出荷時設定に戻す



@PLADEF

Restore the Factory Defaults of USPS Planet  
(USPS Planetの工場出荷時設定に戻す)

## USPS Planetを有効化/無効化



@PLAENA1

Enable USPS Planet  
(USPS Planetを有効化)



@PLAENA0

\*\* Disable USPS Planet  
(USPS Planetを無効化)



スキャナーが USPS Planet バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable USPS Planet** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。

## チェックキャラクタを送信



@PLACHK1

Do Not Transmit USPS Planet Check Character  
(USPS Planetチェックキャラクタを送信しない)



@PLACHK2

\*\* Transmit USPS Planet Check Character  
(USPS Planetチェックキャラクタを送信)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## KIX Post

工場出荷時設定に戻す



@KIXDEF

Restore the Factory Defaults of KIX Post  
(KIX Postの工場出荷時設定に戻す)

## KIX Postを有効化/無効化



@KIXENA1

Enable KIX Post  
(KIX Postを有効化)



@KIXENA0

\*\* Disable KIX Post  
(KIX Postを無効化)



スキャナーが KIX Post バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable KIX Post** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



@SETUPE1

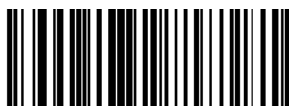
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Australian Postal

工場出荷時設定に戻す



@APLDEF

Restore the Factory Defaults of Australian Postal  
(Australian Postalの工場出荷時設定に戻す)

## Australian Postalを有効化/無効化



@APLENA1

Enable Australian Postal  
(Australian Postalを有効化)



@APLENA0

\*\* Disable Australian Postal  
(Australian Postalを無効化)



スキャナーが Australian Postal バーコードを 特定できない場合、Enter Setup バーコードをスキャン後、Enable Australian Postal バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

郵便バーコード（日本）  
工場出荷時設定に戻す



@JPPDEF

Restore the Factory Defaults of Japan Post  
(郵便バーコード（日本）を工場出荷時設定に戻す)

郵便バーコード（日本）を有効化/無効化



@JPPENA1

Enable Japan Post  
(郵便バーコード（日本）を有効化)



@JPPENA0

\*\* Disable Japan Post  
(郵便バーコード（日本）を無効化)



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## GM Code

工場出荷時設定に戻す



@GMCDEF

Restore the Factory Defaults of GM  
(GMの工場出荷時設定に戻す)

## GMを有効化/無効化



@GMCENA1

Enable GM (GMを有効化)



@GMCENA0

\*\* Disable GM (GMを無効化)



スキャナーが GM バーコードを 特定できない場合、**Enter Setup** バーコードをスキャン後、**Enable GM** バーコードをスキャンして問題を解決する必要があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## GMの長さを設定

スキャナーが最小長さ以上、最大長さ以下のGMバーコードのみデコードするように設定できます。これを実行するためには最小長さと最大長さを設定する必要があります。



@GMCMIN  
Set the Minimum Length  
(最小長さ設定 初期設定: 1)



@GCMAX  
Set the Maximum Length  
(最大長さ設定 初期設定: 2751)



最小長さは最大長さより大きくすることはできません。特定の長さの GM バーコードのみ読み取りたい場合、最小長さと最大長さを同じ値に設定してください。



スキャナーが 8~12 文字の GM バーコードをデコードするように設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Set the Minimum Length** バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「8」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
5. **Set the Maximum Length** バーコードをスキャンします。
6. 付録の「英数字バーコード」セクションにある英数字バーコード「1」、「2」をスキャンします。
7. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの **Save** バーコードをスキャンします。
8. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第7章 データフォーマット

### 概要

データフォーマットを使用して、スキャナーの出力を変更できます。例えば、データフォーマットを使用してバーコードデータの特定の位置に文字を挿入したり、バーコードデータをスキャンする際に特定の文字を抑制/置換/送信したりすることができます。

通常、バーコードをスキャンすると自動的に出力されますが、フォーマットを作成した場合、データを出力する際、フォーマットのプログラミング内で「送信」コマンド（本章の「送信コマンド」の項目を参照）を使用する必要があります。複数のデータフォーマットをスキャナーにプログラムできます。作成可能なデータフォーマットの最大サイズは2048文字です。初期設定では、データフォーマットは無効ですので、必要に応じて有効にしてください。データフォーマットの設定を変更後、各フォーマットをクリアして工場出荷状態に戻したい場合は、以下のDefault Data Format（データフォーマットを初期化）コードをスキャンしてください。



@DFMDEF

\*\*Default Data Format

（データフォーマットを初期化）

### データフォーマットを追加

データフォーマットは通常はバーコードデータの編集に使用されます。データフォーマットを作成する際、データフォーマットの4つのラベル（Format\_0、Format\_1、Format\_2、Format\_3）から1つを選択し、データフォーマットの適用範囲（バーコードタイプやデータ長さなど）を指定し、フォーマットコマンドを含める必要があります。同一のラベルで複数のデータフォーマットを作成できます。スキャンしたデータがデータフォーマットの要件と一致しない場合、非一致エラー音（ブザー）が鳴ります（非一致エラーブザーがONの場合）。

データフォーマットのプログラムはバーコードによるプログラミングとシリアルコマンドによるプログラミングの2種類があります。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## バーコードによるプログラミング

ここでは、特定のバーコードをスキャンしてデータフォーマットをプログラムする方法を説明します。無関係なバーコードをスキャンしたり、設定手順に従わなかったりすると、プログラミングに失敗します。データフォーマットの作成に必要な英数字のバーコードは、付録の「英数字バーコード」の項を参照してください。

**Step 1: Enter Setup**バーコードをスキャンします。

**Step 2: Add Data Format** (データフォーマットを追加) バーコードをスキャンします。



@DFMADD  
**Add Data Format**  
(データフォーマットを追加)

**Step 3 :** ラベル (Format\_0、Format\_1、Format\_2、Format\_3のいずれか) を選択します。

数字のバーコード0~3のいずれかをスキャンして、このデータフォーマットのFormat\_0~3のいずれかのラベルを付けます。

**Step 4:** フォーマッタのコマンドタイプを選択します。

使用するフォーマッタコマンドの種類を指定します。英数字バーコードの6を読み取ると、フォーマッタコマンドタイプ6が選択されます。詳細は、本章の「フォーマッタコマンドタイプ6」の項目を参照してください。

**Step 5:** インターフェースのタイプを設定します。

各インターフェースに対応する999をスキャンします。

**Step 6:** シンボロジーIDを設定します。

付録の「シンボロジーID」の項目を参照し、データフォーマットを適用したいシンボロジーのIDを確認します。シンボロジーIDに該当する3つの英数字バーコードをスキャンします。すべてのシンボロジーのデータフォーマットを作成したい場合は、999をスキャンします。

**Step 7:** データの長さを設定します。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

このシンボロジーで許容されるデータの長さを指定します。データの長さを表す4つの英数字バーコードをスキャンします。9999は、すべての長さに対応するユニバーサルナンバーです。例えば、32文字の場合は「0032」と入力します。

**Step 8:** フォーマッタコマンドを入力します。

本章の「フォーマッタコマンドタイプ6」の項を参照してください。データ編集に必要なコマンドを表す英数字のバーコードをスキャンします。例えば、コマンドが**F141**の場合は、**F141**をスキャンします。

**Step 9:** 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンしてデータフォーマットを保存します。

## Example

フォーマッタコマンドタイプ6を使用して、**Format\_0**のデータフォーマットをプログラムします。Code 128には10文字を適用し、すべての文字の後に「A」を付けて送信します。

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Add Data Format**バーコードをスキャンします。
3. 「0」バーコードをスキャンします。
4. 「6」バーコードをスキャンします。
5. 「9」バーコードを3回スキャンします。
6. 「002」バーコードをスキャンします。
7. 「0010」バーコードをスキャンします。
8. 英数字バーコード「**F141**」をスキャンします。
9. **Save**バーコードをスキャンします。

プログラミングプロセスを最適化するため、データフォーマットを作成するためのコマンド（例：

**@DFMADD069990020010F141;**）を入力して、バッチバーコードを生成することもできます。バッチバーコードの使用方法については、第9章の「バッチバーコードの使用」を参照してください。

ラベルを共有する複数のデータフォーマットを作成する場合、フォーマットは

**@DFMADD069990029999F141|069990039999F142|069990049999F143;**のように、バッチコマンドの中で縦棒（|）でお互い区切られています。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## シリアルコマンドによるプログラミング

データフォーマットは、ホスト機器から受信するシリアルコマンド (HEX) でも作成できます。全てのコマンドは大文字で入力する必要があります。

構文は以下の要素で構成されています。

**Prefix (プリフィックス)** : "~<SOH>0000" (HEX: 7E 01 30 30 30), 6文字。

**Storage type (ストレージタイプ)** : 「@」 (HEX: 40) または 「#」 (HEX: 23)、1文字。「@」はスキャナーの電源を切っても再起動しても失われない永久的な設定を意味し、「#」はスキャナーの電源を切ったり再起動したりしたら失われる一時的な設定を意味します。

**Add Data Format Command (データフォーマットコマンドを追加)** : "DFMADD" (HEX: 44 46 4D 41 44 44), 6文字。

**Data format label (データフォーマットラベル)** : 「0」 (HEX:30)、 「1」 (HEX:31)、 「2」 (HEX:32)、 「3」 (HEX:33)のうちいずれか1文字です。「0」、「1」、「2」、「3」はそれぞれ、Format\_0、Format\_1、Format\_2、Format\_3を表します。

**Formatter command type (フォーマットコマンドタイプ)** : 「6」 (HEX: 36)、1文字。

**Interface type (インターフェースタイプ)** : 「999」 (HEX: 39 39 39)、3文字。

**Symbology ID Number (シンボロジーID)** : データフォーマットを適用したいシンボロジーのID (3文字)。999は全てのシンボロジーに対応します。

**Data length (データ長さ)** : このシンボロジーで許容されるデータの長さ (4文字)。9999 は全ての長さに対応します。例えば、32文字の場合は「0032」と入力します。

**Formatter commands (フォーマッタコマンド)** : データの編集に使用するコマンド文字列です。詳細は、本章の「フォーマッタのコマンドタイプ6」の項を参照してください。

**Suffix (サフィックス)** : ";<ETX>" (HEX: 3B 03)、2文字。

**例** : フォーマッタコマンドタイプ6を使用して、Format\_0データフォーマットをプログラムすると、Code 128には10文字が適用され、「A」の前の全ての文字が送信されます。

入力: 7E 01 30 30 30 30 40 44 46 4D 41 44 44 30 36 39 39 39 30 30 33 39 39 39 39 46 31 34 31 3B 03

(~<SOH>0000@DFMADD069990020010F141;<ETX>)

レスポンス: 02 01 30 30 30 30 40 44 46 4D 41 44 44 30 36 39 39 39 30 30 33 39 39 39 39 46 31 34 31 06 3B 03

(<STX><SOH>0000@DFMADD069990020010F141<ACK>;<ETX>)

ラベルを共有する複数のデータフォーマットを作成する場合は、以下のようにシリアルコマンドの縦棒 (|) でフォーマットを区切ります。

**例**: ~<SOH>0000@DFMADD069990020010F141|069990039999F142|069990049999F143;<ETX>



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## データフォーマットを有効化/無効化

データフォーマットが無効である場合、バーコードデータはプリフィックスとサフィックスを含み読み込みデータとしてホスト機器へ出力されます。



@DFMENA0

**\*\* Disable Data Formatter**

(データフォーマットを無効化)

自分で作成したデータフォーマットに適合したデータをリクエストすることができます。以下の設定は、作成したデータフォーマットに適用できます。

**Enable Data Formatter, Required, Keep Prefix/Suffix (データフォーマットを有効、必要、プリフィックス・サフィックスを保持)** :データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、適宜修正され、プリフィックスとサフィックスとともに出力されます (プリフィックスとサフィックスが有効な場合)。データフォーマットの要件に適合しないデータは、エラーを示すブザーがなり (非適合エラー通知ブザーがONの場合)、そのバーコードのデータは送信されません。

**Enable Data Formatter, Required, Drop Prefix/Suffix (データフォーマットを有効、必要、プリフィックス・サフィックスを喪失)** :データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、適宜修正され、プリフィックスやサフィックスなしで出力されます (プリフィックスやサフィックスを有効化している場合も同様)。データフォーマットの要件に適合しないデータは、エラーを示すブザーがなり (非適合エラー通知ブザーがONの場合)、そのバーコードのデータは送信されません。

**Enable Data Formatter, Not Required, Keep Prefix/Suffix (データフォーマットを有効、不要、プリフィックス・サフィックスを保持)** : データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、適宜修正され、プリフィックスとサフィックスとともに出力されます (プリフィックスとサフィックスが有効な場合)。データフォーマットの要件に適合しないバーコードデータは、プリフィックスとサフィックスとともに、読み取りデータとして送信されます (プリフィックスとサフィックスが有効な場合)。

**Enable Data Formatter, Not Required, Drop Prefix/Suffix (データフォーマットを有効、不要、プリフィックス・サフィックスを喪失)** :データフォーマットの要件を満たすスキャンデータは、適宜修正され、プリフィックスやサフィックスなしで出力されます (プリフィックスやサフィックスを有効化している場合も同様)。データフォーマットの



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

**Enter Setup**

要件に適合しないバーコードデータは、プリフィックスとサフィックスとともに、読み取りデータとして送信されます（プリフィックスとサフィックスが有効な場合）。



@DFMENA1

**Enable Data Formatter, Required, Keep Prefix/Suffix**

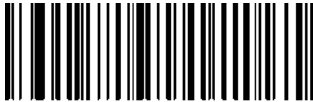
（データフォーマッタを有効、必要、プリフィックス・サフィックスを保持）



@DFMENA3

**Enable Data Formatter, Not Required, Keep Prefix/Suffix**

（データフォーマッタを有効、必要、プリフィックス・サフィックスを喪失）



@DFMENA2

**Enable Data Formatter, Required, Drop Prefix/Suffix**

（データフォーマッタを有効、不要、プリフィックス・サフィックスを保持）



@DFMENA4

**Enable Data Formatter, Not Required, Drop Prefix/Suffix**

（データフォーマッタを有効、不要、プリフィックス・サフィックスを喪失）



@SETUPE1

**Enter Setup**





#SETUPE1  
Enter Setup

## 非適合エラー通知ブザー

Error Beep（非適合エラー通知ブザー）がONの場合、データフォーマットの要件と一致しないバーコードに遭遇した場合、スキャナーはエラーを通知するブザーを鳴らします。



@DFMTON0

Non-Match Error Beep Off（非適合エラー通知ブザー オフ）



@DFMTON1

\*\* Non-Match Error Beep On（非適合エラー通知ブザー オン）

## データフォーマット選択

データフォーマットを有効化後、以下の適切なバーコードをスキャンして使用したいデータフォーマットを選択できます。



@DFMUSE0

\*\* Format\_0



@DFMUSE1

Format\_1



@DFMUSE2

Format\_2



@DFMUSE3

Format\_3



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## シングルスキャンでデータフォーマットを切り替え

シングルスキャンしてデータフォーマットを切り替えることができます。次のバーコードは、ここで選択したデータ形式でスキャンされ、その後、上で選択した形式に戻ります。

例えば、Format\_3として保存したデータ形式を使用するようにスキャナーを設定したとします。以下の**Single Scan – Format\_1** バーコードをスキャンすると、トリガーを1回引くだけでFormat\_1に切り替えることができます。次にスキャンされるバーコードは、Format\_1を使用し、その後Format\_3に戻ります。

注意：この設定は、スキャナーを電源オフ、デバイスを電源オフまたは再起動すると失われます。



@DFMSIN0

Single Scan – Format\_0 (シングルスキャンでFormat\_0へ切り替え)



@DFMSIN1

Single Scan – Format\_1 (シングルスキャンでFormat\_1へ切り替え)



@DFMSIN2

Single Scan – Format\_2 (シングルスキャンでFormat\_2へ切り替え)



@DFMSIN3

Single Scan – Format\_3 (シングルスキャンでFormat\_3へ切り替え)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## データフォーマットをクリア

スキャナーから作成したデータフォーマットを削除する方法は2種類あります。

データフォーマットを1件削除: **Clear One (1件クリア)** バーコード、英数字バーコード(0-3)、**Save**バーコードをスキャンします。例えば、Format\_2を削除する場合、**Clear One**バーコード、英数字バーコード「2」、**Save**バーコードをスキャンします。

データフォーマットを全て削除: **Clear All (全てクリア)** バーコードをクリアします。



@DFMCAL  
Clear All (全てクリア)



@DFMCLR  
Clear One (1件クリア)

## データフォーマットをクエリ

以下の適切なバーコードをスキャンすると、お客様が作成した、またはメーカーが初期設定したデータフォーマットの情報を得ることができます。例えば、本章の「データフォーマットの追加」の項目の例に従ってFormat\_0を追加した場合、**Query Current Data Formats**のバーコードをスキャンすると、以下のような結果が得られます。

Data Format0:069990020010F141;.



@DFMQCU  
Query Current Data Formats  
(現在のデータフォーマットをクエリ)



@DFMQFA  
Query Preset Data Formats  
(初期設定のデータフォーマットをクエリ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第8章 プリフィックス & サフィックス

### 概要

1次元バーコードには、数字、文字、記号などのデータが含まれています。2次元バーコードは、漢字やその他のマルチバイト文字など、より多くのデータを含むことができます。しかし、実際の利用において、バーコードを短く柔軟性を保つために、バーコードの種類、データ取得時間、区切り文字など、必要なすべての情報を持たず、持つべきではありません。

上記の要件を満たす方法に、プリフィックスとサフィックスがあります。これらは、元のバーコードデータを維持したまま、追加、削除、変更することができます。



バーコード処理プロセス

1. データフォーマットでデータ編集
2. プリフィックスとサフィックスの追加
3. データをパッキング
4. ストップキャラクタの追加

### グローバル設定

#### 全てのプリフィックス/サフィックスを有効化/無効化

**Disable All Prefixes/Suffixes:** Trans

**Disable All Prefix/Suffixes (プリフィックスとサフィックスを無効化)** : プリフィックス/サフィックスを追加せずにバーコードデータを送信します。

**Enable All Prefixes/Suffixes (プリフィックスとサフィックスを有効化)** : Code ID プリフィックス、AIM ID プリフィックス、カスタムプリフィックス/サフィックス、ストップキャラクタをバーコードデータに付加して送信することを許可します。



@APSENA0

**\*\* Disable All Prefixes/Suffixes (プリフィックスとサフィックスを無効化)**



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup



@APSENA1

Enable All Prefixes/Suffixes (プリフィックスとサフィックスを有効化)

## プリフィックスシーケンス



@PRESEQ0

\*\* Code ID+ Custom +AIM ID



@PRESEQ1

Custom + Code ID + AIM ID

## カスタムプリフィックス

### カスタムプリフィックスを有効化/無効化

カスタムプリフィックスを有効にすると、データに10文字を超えないユーザー定義のプリフィックスを付加することができます。例えば、カスタムプリフィックスが「AB」で、バーコードデータが「123」の場合、ホスト機器は「AB123」を受信します。



@CPRENA0

\*\* Disable Custom Prefix

(カスタムプリフィックスを無効化)



@CPRENA1

Enable Custom Prefix

(カスタムプリフィックスの有効化)



#SETUPE0

Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## カスタムプリフィックスを設定

カスタムプリフィックスを設定する場合、**Set Custom Prefix**バーコードをスキャンし、次に必要なプリフィックスのHEX値に対応する数字バーコードをスキャンし、**Save**バーコードをスキャンして完了です。

**注意：**カスタムプリフィックスは、10文字を超えることはできません。



@CPRSET  
**Set Custom Prefix**

(カスタムプリフィックスを設定)

**E**  
*xample*

カスタムプリフィックスを「CODE」(HEX: 0x43/0x4F/0x44/0x45)に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set Custom Prefix**バーコードをスキャンします。
3. 付録の「英数字バーコード」セクションにある数字バーコード「4」、「3」、「4」、「F」、「4」、「4」、「4」、「5」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Enable Custom Prefix**バーコードをスキャンします。
6. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## AIM IDプリフィックス

AIM (国際自動認識工業会) ID は、シンボロジー識別子を定義します (詳細は、付録の「AIM ID 表」を参照してください)。AIM IDプリフィックスが有効な場合、スキャナーはデコード後、スキャンデータの前にシンボロジー識別子を追加します。



@AIDENA0

**\*\* Disable AIM ID Prefix**

(AIM IDプリフィックスを無効化)



@AIDENA1

**Enable AIM ID Prefix**

(AIM IDプリフィックスを有効化)



AIM ID はユーザーがプログラムできません。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## Code ID プリフィックス

Code IDは、バーコードの種類を識別するためにも使用できます。AIM IDとは異なり、Code IDはユーザーがプログラムできます。CodeIDは、1文字または2文字の英字で構成されています。



@CIDENA0

**\*\* Disable Code ID Prefix**

(Code IDプリフィックスを無効化)



@CIDENA1

**Enable Code ID Prefix**

(Code IDプリフィックスを有効化)



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## 全てのデフォルトのCode IDを復元

デフォルトのCode IDについては、付録の「Code ID表」の項目を参照してください。



@CIDDEF

Restore All Default Code IDs  
(全てのデフォルトのCode IDを復元)

## Code IDを変更

Code IDを変更し、各シンボロジーのデフォルトのCode IDを復元方法については、以下の例を参照してください。

### F417 Code ID を「p」 (HEX: 0x70)に変更する方法

**E**  
*Example*

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Modify PDF417 Code ID** バーコードをスキャンします。
3. 「英数字バーコード」セクションにある数字バーコード「7」、「0」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。

### 各シンボロジーのCode IDをデフォルトに戻す方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Restore All Default Code IDs**バーコードをスキャンします。
3. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

### 1次元シンボロジーのCode ID変更



@CID002

Modify Code 128 Code ID (Code 128 のCode IDを変更)



@CID004

Modify EAN-8 Code ID (EAN-8 のCode IDを変更)



@CID003

Modify GS1-128 (UCC/EAN-128) Code ID  
(GS1-128 (UCC/EAN-128) のCode IDを変更)



@CID005

Modify EAN-13 Code ID (EAN-13 のCode IDを変更)



@CID006

Modify UPC-E Code ID(UPC-E のCode IDを変更)



@CID007

Modify UPC-A Code ID (UPC-A のCode IDを変更)



@CID008

Modify Interleaved 2 of 5 Code ID  
(インタリーブド 2 5 のCode IDを変更)

---



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@CID009  
Modify ITF-14 Code ID(ITF-14 のCode IDを変更)



@CID010  
Modify ITF-6 Code ID(ITF-6 のCode IDを変更)



@CID011  
Modify Matrix 2 of 5 Code ID(Matrix 2 of 5 のCode IDを変更)



@CID013  
Modify Code 39(Code 39 のCode IDを変更)



@CID015  
Modify Codabar Code ID(Codabar のCode IDを変更)



@CID017  
Modify Code 93 Code ID(Code 93 のCode IDを変更)



@CID019  
Modify China Post 25 Code ID(China Post 25 のCode IDを変更)



@CID020  
Modify AIM 128 Code ID(AIM 128 のCode IDを変更)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@CID022  
Modify COOP 25 Code ID(COOP 25 のCode IDを変更)



@CID021  
Modify ISBT 128 Code ID(ISBT 128 のCode IDを変更)



@CID023  
Modify ISSN Code ID(ISSN のCode IDを変更)



@CID024  
Modify ISBN Code ID(ISBN のCode IDを変更)



@CID025  
Modify Industrial 25 Code ID  
(インダストリアル25 のCode IDを変更)



@CID026  
Modify Standard 25 Code ID  
(スタンダードのCode IDを変更)



@CID027  
Modify Plessey Code ID(Plessey のCode IDを変更)



@CID028  
Modify Code 11 Code ID(Code 11 のCode IDを変更)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



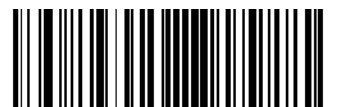
@CID029  
Modify MSI Plessey Code ID  
(MSI Plessey のCode IDを変更)



@CID030  
Modify GS1 Composite Code ID  
(GS1 Composite のCode IDを変更)



@CID031  
Modify GS1 Databar (RSS) Code ID  
(GS1 Databar (RSS) のCode IDを変更)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## 2次元シンボロジーのCode ID変更



@CID032

Modify PDF417 Code ID(PDF417 のCode IDを変更)



@CID033

Modify QR Code ID (QRコードのCode IDを変更)



@CID034

Modify Aztec Code ID(Aztec のCode IDを変更)



@CID035

Modify Data Matrix Code ID  
(データマトリックスコードのCode IDを変更)



@CID036

Modify Maxicode Code ID  
(Maxicode のCode IDを変更)



@CID039

Modify Chinese Sensible Code ID  
(Chinese Sensible のCode IDを変更)



@CID041

Modify GM Code ID(GM のCode IDを変更)



@CID042

Modify Micro PDF417 Code ID(Micro PDF417 のCode IDを変更)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@CID043  
Modify Micro QR Code ID  
(Micro QR のCode IDを変更)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

## カスタムサフィックス

### カスタムサフィックスを有効化/無効化

カスタムサフィックスを有効にすると、データに10文字を超えないユーザー定義のサフィックスを付加することができます。例えば、カスタムサフィックスが「AB」で、バーコードデータが「123」の場合、ホスト機器は「123AB」を受信します。



@CSUENA0

**\*\* Disable Custom Suffix**

(カスタムサフィックスを無効化)



@CSUENA1

**Enable Custom Suffix**

(カスタムサフィックスを有効化)

### カスタムサフィックスを設定

カスタムサフィックスを設定する場合、**Set Custom Suffix**バーコードをスキャンし、次に必要なサフィックスのHEX値に対応する数字バーコードをスキャンし、**Save**バーコードをスキャンして完了です。

**注意：**カスタムサフィックスは、10文字を超えることはできません。



@CSUSET

**Set Custom Suffix**

(カスタムサフィックスの設定)



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## Example

カスタムサフィックスを「CODE」(HEX: 0x43/0x4F/0x44/0x45)に設定する方法

1. **Enter Setup**バーコードをスキャンします。
2. **Set Custom Suffix**バーコードをスキャンします。
3. Scan 「英数字バーコード」セクションにある数字バーコード「4」、「3」、「4」、「F」、「4」、「4」、「4」 「5」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save**バーコードをスキャンします。
5. Scan the **Enable Custom Suffix** barcode.
6. **Exit Setup**バーコードをスキャンします。

## データパッキング

### 概要

データパッキングは、送信前にデータをパックしてほしいという特定のユーザーのために設計されています。データパッキングはデータフォーマットに影響を与えるため、この機能が不要ない場合は無効にすることをお勧めします。

### データパッキングオプション

**Disable Data Packing (データパッキングを無効化)** : 読み取ったデータを生のフォーマット (パケットなし) で送信します。  
**Enable Data Packing, Format 1 (データパッキング、フォーマット1を有効化)** : 以下で定義されるパケットフォーマット1を伴うデコードされたデータを送信します。

パケットフォーマット1: [STX + ATTR + LEN] + [AL\_TYPE + DATA] + [LRC] STX : 0x02

ATTR : 0x00

LEN : バーコードデータの長さを、0x0000 (0) から 0xFFFF (65535) までの2バイトで表示。

AL\_TYPE: 0x36

DATA : バーコードの生データ。

LRC : チェックデジット

LRCの計算アルゴリズム : 計算シーケンス

0xFF+LEN+AL\_TYPE+DATA : 計算方法はXOR、1バイト毎に計算。



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

**Enable Data Packing, Format 2:** Transmit dec (データパッキング、フォーマット2を有効化)

読み取ったデータを以下のパケットフォーマット2で送信します。

パケットフォーマット 2: [STX + ATTR + LEN] + [AL\_TYPE] + [Symbology\_ID + DATA] +  
[LRC]STX: 0x02

ATTR: 0x00

LEN : バーコードデータの長さを、0x0000 (0) から0xFFFF (65535) までの2バイトで表示。

AL\_TYPE: 0x3B

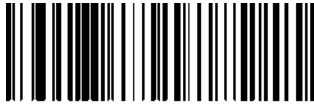
Symbology\_ID: シンボロジーのID番号、1バイト。DATA: 生バーコードデータo

byte. DATA: Raw barcode data.

LRC: チェックデジット

LRLRC計算アルゴリズム : 計算シーケンス

0xFF+LEN+AL\_TYPE+Symbology\_ID+DATA、計算方法はXOR、1バイト毎に計算。



@PACKAG0

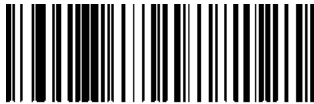
**\*\* Disable Data Packing (データパッキングを無効化)**



@PACKAG1

**Enable Data Packing, Format 1**

(データパッキング フォーマット1を有効化)



@PACKAG2

**Enable Data Packing, Format 2**

(データパッキング フォーマット2を有効化)



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## ストップキャラクタサフィックス

### ストップキャラクタサフィックスを有効化/無効化

キャリッジリターン(CR)やキャリッジリターン/ラインフィード(CRLF)などのストップキャラクタは、データの終わりを示すためにのみ使用することができ、その後には何も加えることができません。



@TSUENA0

#### Disable Terminating Character Suffix

(ストップキャラクタサフィックスを無効化)



@TSUENA1

#### \*\* Enable Terminating Character Suffix

(ストップキャラクタサフィックスを有効化)

### ストップキャラクタサフィックスを設定

ストップキャラクタサフィックスを設定する場合、**Set Terminating Character Suffix**バーコードをスキャンし、次に必要なストップキャラクタサフィックスのHEX値に対応する数字バーコードをスキャンし、**Save**バーコードをスキャンして完了です。

**注意**：ストップキャラクタのサフィックスは2文字を超えることはできません。



@TSUSET

#### Set Terminating Character Suffix

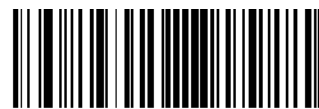
(ストップキャラクタサフィックスの設定)



@TSUSET0D

#### \*\* Set Terminating Character to CR

(ストップキャラクタをCR (0x0D)に設定) (0x0D)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@TSUSET0D0A

### Set Terminating Character to CRLF (0x0D,0x0A)

(ストップキャラクタをCRLF (0x0D,0x0A)に設定)

**E**  
*example*

ストップキャラクタのサフィックスを0x0Aに設定する方法

1. **Enter Setup** バーコードをスキャンします。
2. **Set Terminating Character Suffix** バーコードをスキャンします。
3. 「英数字バーコード」セクションにある数字バーコード「0」、「A」をスキャンします。
4. 付録の「バーコードを保存/キャンセル」セクションの**Save** バーコードをスキャンします。
5. **Enable Terminating Character Suffix** をスキャンします。
6. **Exit Setup** バーコードをスキャンします。



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## 第9章 バッチプログラミング

### 概要

バッチプログラミングでは、コマンドのバッチを1つのバッチバーコードに統合することができます。

バッチプログラミングのルールを以下に示します。

1. コマンドフォーマット：コマンド+パラメータ値。
2. 各コマンドはセミコロン (;) で終了します。コマンドとその終端のセミコロンの間にはスペースがありません。
3. バーコード生成ソフトウェアを使用して、2D バッチバーコードを生成します。

例：Normal Illumination, Sense Mode, Decode Session Timeout = 2s, Disable Interleaved 2 of 5のバッチバーコードを作成

1. コマンドを入力します。

```
@ILLSCN1;SCNMOD2;ORTSET2000;I25ENA0;
```

2. バーコードを生成します。

上記の構成でスキャナーを設置する場合、**Enable Batch Barcode**バーコードをスキャンしてから、生成されたバッチバーコードをスキャンします。



@BATCHS

Enable Batch Barcode (バッチバーコードを有効化)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

## バッチコマンドを作成

バッチコマンドには、複数の個別コマンドを含めることができ、各コマンドはセミコロン (;) で終了します。

詳しくは、第3章の「プログラミングコマンドの使用」の項目を参照してください。

## バッチバーコードを作成

バッチバーコードは、PDF417、QRコード、データマトリックスのいずれかの形式で作成できます。

例 : **Normal Illumination, Sense Mode, Decode Session Timeout = 2s, Disable Interleaved 2 of 5**のバッチバーコードを生成

1. 以下のコマンドを入力します。

```
@ILLSCN1;SCNMOD2;ORTSET2000;I25ENA0;
```

2. PDF417バッチバーコードを生成します。

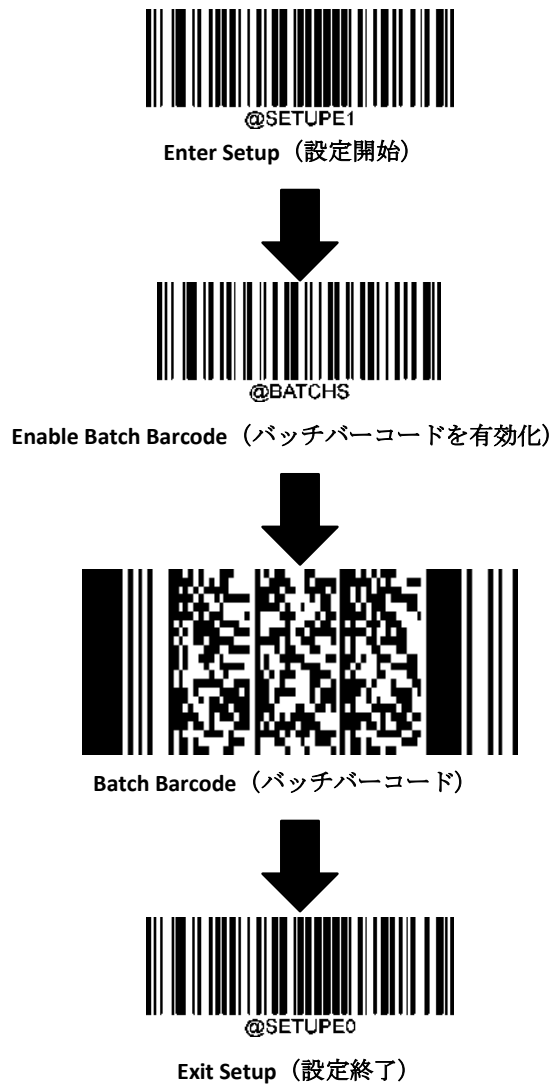


@SETUPE1  
Enter Setup



## バッチバーコードを使用

バッチバーコードを使用する際、以下のバーコードをスキャンします(上記の例を使用)。





#SETUPE1  
Enter Setup

## 付録

### 英数字バーコード

0~9



@DIGIT0  
0



@DIGIT2  
2



@DIGIT4  
4



@DIGIT1  
1



@DIGIT3  
3



@DIGIT5  
5



@SETUPE1  
Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

---



@DIGIT6

6



@DIGIT7

7



@DIGIT8

8



@DIGIT9

9

A~F



@DIGITA

A



@DIGITB

B



@DIGITC

C



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---



@DIGITD  
D



@DIGITE  
E



@DIGITF  
F



@DIGIVB  
1

## バーコードを保存/キャンセル

数字のバーコードを読み取った後、データを保存するためには、**Save** バーコードをスキャンする必要があります。

間違った桁をスキャンした場合は、**Cancel** バーコードをスキャンして設定を最初からやり直すか、**Delete the Last Digit**バーコードをスキャンして正しい桁をスキャンするか、または**Delete All Digits** バーコードをスキャンして希望する桁をスキャンすることができます。

例：最大長さ（最大長さ）のバーコードと数字のバーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、スキャンした場合

◇ **Delete the Last Digit**（最後の桁を削除）：最後の桁の「3」が削除されます。

◇ **Delete All Digits**（全ての桁を削除）：数字「123」が全て削除されます。

◇ **Cancel**（キャンセル）：最大長さの設定がキャンセルされます。また、スキャナーはまだセットアップモードのままです

---



@SETUPE1  
Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

す。



@DIGSAV  
Save (保存)



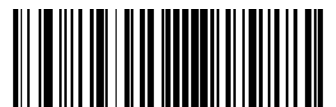
@DIGCAN  
Cancel (キャンセル)



@DIGDEL  
Delete the Last Digit (最後の桁を削除)



@DIGDAL  
Delete All Digits (全ての桁を削除)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## 工場出荷時設定表

パラメータ	工場出荷時設定	備考
システム設定		
バーコードプログラミング	Disabled (Exit Setup)	
プログラミングバーコードデータ	Do not transmit	
イルミネーションLED	On	
エイミング	On	
電源ブザー	On	
グッドリードブザー	On	
グッドリードブザー持続時間	Medium (80ms)	
グッドリードブザーの周波数	4000Hz	
グッドリードブザーの音量	Loud	
グッドリードバイブレーション	On	
グッドリードバイブレーション持続時間	100ms	
スキャンモード	Level Mode	
デコードセッションタイムアウト	3,000ms.	1-3,600,000ms
手振れ補正タイムアウト (センスモード)	200ms	0-3,000ms
再読取りタイムアウト	Disabled	
	300ms	1-3,600,000ms
再読取りリセットタイムアウト	On	
グッドリードディレイ	Off	
	500ms	
画像デコードタイムアウト	500ms	1-3,000ms
GS1アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲む	Off	
感度	Medium Sensitivity	
トリガーコマンド	Disabled	
バーコード別スキャン設定	Normal	
バーコード読み取り	On	
デコード範囲	Whole Area Decoding	
画像反転	Do Not Flip	
読み取りエラーメッセージ	Off	
	NG	
操作モード	Bluetooth HID	
初期設定インターフェース	USB HID Keyboard	



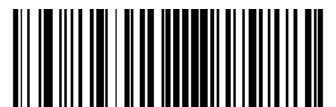
@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

USBインターフェース		
USB 国別キーボード	US keyboard	USB HIDキーボード
不明な文字の警告ブザー	Off	USB HIDキーボード
Emulate ALT+キーパッド	Off	USB HIDキーボード
コードページ	Code Page 1252 (West European Latin)	USB HIDキーボード
Unicodeエンコード	Off	USB HIDキーボード
先行ゼロ付きキーボードエミュレーション	On	USB HIDキーボード
ファンクションキーマッピング	Disable	USB HIDキーボード
キーストローク間の遅延	No Delay	USB HIDキーボード
Caps Lock	Off(Non Japanese Keypad)	USB HIDキーボード
大文字/小文字の切り替え	No Case Conversion	USB HIDキーボード
テンキーをエミュレート 1	Off	USB HIDキーボード
テンキーをエミュレート 2	Off	USB HIDキーボード
ファストモード	Off	USB HIDキーボード
ポーリングレート	4ms	USB HIDキーボード
ワイヤレス通信		
自動電源オフ	5 minutes	
シンボロジー		
Code 128		
Code 128	Enabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
EAN-8		
EAN-8	Enabled	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

チェックキャラクタ	Transmit	
2桁のアドオンコード	Disabled	
5桁のアドオンコード	Disabled	
アドオンコードをリクエスト	Not Required	
EAN-8からEAN-13へ変換	Disabled	
<b>EAN-13</b>		
EAN-13	Enabled	
チェックキャラクタ	Transmit	
2桁のアドオンコード	Disabled	
5桁のアドオンコード	Disabled	
アドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
290で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
378また379で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
414また419で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
434または439で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
977で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
978で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
979で始まるEAN-13バーコードのアドオンコードをリクエスト	Do Not Require Add-On Code	
<b>UPC-E</b>		
<b>UPC-E</b>	Enabled	
UPC-E0	Enabled	
UPC-E1	Disable	
チェックキャラクタ	Transmit	
2桁のアドオンコード	Disabled	
5桁のアドオンコード	Disabled	
アドオンコードをリクエスト	Not Required	
ブリアンブルキャラクタを送信	System Character	



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

UPC-EからUPC-Aへ変換	Disabled	
<b>UPC-A</b>		
UPC-A	Enabled	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

チェックキャラクタ	Transmit	
2桁のアドオンコード	Disabled	
5桁のアドオンコード	Disabled	
アドオンコードをリクエスト	Not Required	
プリアンブルキャラクタを送信	System Character	
<b>クーポンコード</b>		
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13	Off	
クーポンGS1 Databar出力	Off	
<b>インタリーブド2 of 5</b>		
インタリーブド2 of 5	Enabled	
最大長さ	80	
最小長さ	6	
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>ITF-14</b>		
ITF-14	Disabled	
<b>ITF-6</b>		
ITF-6	Disabled	
<b>Matrix 2 of 5</b>		
Matrix 2 of 5	Enabled	
最大長さ	80	
最小長さ	4	4以上
チェックキャラクタ検証	Disable	
<b>Code 39</b>		
Code 39	Enabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
チェックキャラクタ検証	Disabled	
スタート/ストップキャラクタ	Do not transmit	
Code 39 フルアスキー	Disabled	
Code 32 (イタリア製薬業界用コード)	Disabled	



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

Code 32 プリフィックス	Disabled	
Code 32 スタート/ストップキャラクタ	Do not transmit	
Code 32 チェックキャラクタ	Do not transmit	
<b>Codabar</b>		
Codabar	Enabled	
最大長さ	60	
最小長さ	2	
チェックキャラクタ検証	Disabled	
スタート/ストップキャラクタ	Do not transmit	
	ABCD/ABCD	全部大文字
<b>Code 93</b>		
Code 93	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
チェックキャラクタ検証	Do Not Transmit Check Character After Verification	
<b>China Post 25</b>		
China Post 25	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>UCC/EAN-128</b>		
UCC/EAN-128	Enabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
<b>GS1 Databar</b>		
GS1 Databar	Enabled	
アプリケーション識別子 (01)	Transmit	
<b>EAN•UCC Composite</b>		
GS1 Composite	Disabled	
UPC/EAN Composite	Disabled	
<b>Code 11</b>		
Code 11	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	4	4以上



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

チェックキャラクタ検証	One Check Character, MOD11	
-------------	----------------------------	--



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

チェックキャラクタ	Transmit Check Character	
<b>ISBN</b>		
ISBN	Disabled	
ISBNフォーマットを設定	ISBN-10	
<b>ISSN</b>		
<b>インダストリアル25</b>		
インダストリアル25	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	6	4以上
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>スタンダード25</b>		
スタンダード25	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	6	4以上
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>Plessey</b>		
Plessey	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	4	4以上
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>MSI-Plessey</b>		
MSI-Plessey	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	4	4以上
チェックキャラクタ検証	One Check Character, MOD10	
チェックキャラクタ	Transmit	
<b>AIM 128</b>		
AIM 128	Disabled	
最大長さ	48	
最小長さ	1	
<b>ISBT 128</b>		
ISBT 128	Disabled	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

<b>COOP 25</b>		
COOP 25	Disable	
最大長さ	80	
最小長さ	4	
チェックキャラクタ検証	Disabled	
<b>PDF417</b>		
PDF417	Enabled	
最大長さ	2710	
最小長さ	1	
PDF417 ツインコード	Single PDF417 Only	
白黒反転PDF417 コード	Decode Regular PDF417 Barcodes Only	
文字エンコード	Default Character Encoding	
PDF417 ECI 出力	Enabled	
<b>Micro PDF 417</b>		
Micro PDF417	Disabled	
最大長さ	366	
最小長さ	1	
<b>QR Code</b>		
QR Code	Enabled	
最大長さ	7089	
最小長さ	1	
QR ツインコード	Single QR Only	
白黒反転QR コード	Decode Regular QR Barcodes Only	
文字エンコード	Default Character Encoding	
QR ECI 出力	Enabled	
<b>Micro QR Code</b>		
Micro QR Code	Enable	
最大長さ	35	
最小長さ	1	
<b>Aztec</b>		
Aztec Code	Disabled	
最大長さ	3832	
最小長さ	1	



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

画像内の複数のバーコードの読み取り	<b>Mode 1</b>	
文字エンコード	<b>Default Character Encoding</b>	
Aztec ECI 出力	<b>Enable</b>	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

<b>データマトリックス</b>		
データマトリックス	Enabled	
最大長さ	3116	
最小長さ	1	
長方形バーコード	Single Data Matrix Only	
白黒反転データマトリックスコード	Enabled	
白黒反転データマトリックスコード	Decode Regular Data Matrix Barcodes Only	
文字エンコード	Default Character Encoding	
データマトリックスECI出力	Enabled	
<b>Maxicode</b>		
Maxicode	Disable	
最大長さ	150	
最小長さ	1	
<b>Chinese Sensible Code</b>		
Chinese Sensible Code	Disable	
最大長さ	7827	
最小長さ	1	
Chinese Sensible Code ツインコード	Single Data Matrix Only	
白黒反転Chinese Sensibleコード	Decode Regular Data Matrix Barcodes Only	
<b>USPS Postnet</b>		
USPS Postnet	Disabled	
チェックキャラクタ	Transmit	
<b>USPS Intelligent Mail</b>		
USPS Intelligent Mail	Disabled	
<b>Royal Mail</b>		
Royal Mail	Disabled	
<b>USPS Planet</b>		
USPS Planet	Disabled	
チェックキャラクタ	Transmit	
<b>KIX Post</b>		
KIX Post	Disabled	
<b>Australian Postal</b>		
Australian Postal	Disabled	



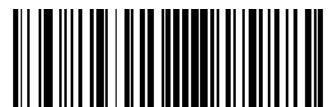
@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

<b>Japan Post</b>		
Japan Post	<b>Disabled</b>	
<b>GM Code</b>		
GM Code	<b>Disable</b>	
最大長さ	<b>2751</b>	
最小長さ	<b>1</b>	
<b>データフォーマット</b>		
データフォーマット	<b>Disabled</b>	
非適合エラー通知ブザー	<b>Format_0</b>	
データフォーマット選択	<b>On</b>	
<b>プリフィックス &amp; サフィックス</b>		
全てのプリフィックス/サフィックス	<b>Disabled</b>	
プリフィックスシーケンス	<b>Code ID+ Custom +AIM ID</b>	
カスタムプリフィックス	<b>Disabled</b>	
AIM ID プリフィックス	<b>Disabled</b>	
Code ID プリフィックス	<b>Disabled</b>	
カスタムサフィックス	<b>Disabled</b>	
データパッキング	<b>Disable Data Packing</b>	
ストップキャラクタサフィックス	<b>Enable</b>	



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## AIM ID 表

シンボロジー	AIM ID	可能な AIM ID 修飾子 (m)
Code 128	]C0	
GS1-128 (UCC/EAN-128)	]C1	
EAN-8	]E4	
アドオンコード付き EAN-8	]E3	
EAN-13	]E0	
アドオンコード付き EAN-13	]E3	
UPC-E	]E0	
アドオンコード付き UPC-E	]E3	
UPC-A	]E0	
アドオンコード付き UPC-A	]E3	
インタリーブド 2 of 5、	]Im	0, 1, 3
ITF-14	]Im	1, 3
ITF-6	]Im	1, 3
Matrix 2 of 5	]X0	
Code 39	]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7
Codabar	]Fm	0, 2, 4
Code 93	]G0	
China Post 25	]X0	
AIM 128	]C2	
ISBT 128	]C4	
ISSN	]X0	
ISBN	]X0	
インダストリアル25	]S0	
スタンダード25	]R0	
Plessey	]P0	
Code 11	]Hm	0, 1, 3
MSI Plessey	]Mm	0, 1
GS1 合成	]em	0-3
GS1 Databar (RSS)	]e0	
Code 49	]T0	



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
**Enter Setup**

---

Code 16K	JK0	
COOP 25	JX0	



#SETUPE0  
**Exit Setup**



#SETUPE1

Enter Setup

PDF417	]Lm	0-2
QR コード	]Qm	0-6
Aztecコード	]zm	0-9, A-C
データマトリックス	]dm	0-6
Maxicode	]Um	0-3
Chinese Sensible コード	]X0	
GM	]gm	(0~9)
Micro PDF417	]L0	
Micro QRコード	]Q1	
Code One	]X0	
DotCode	]Jm	0~5
USPS Postnet	]X0	
USPS Intelligent Mail	]X0	
Royal Mail	]X0	
USPS Planet	]X0	
KIX Post	]X0	
Australian Postal	]X0	
郵便バーコード (日本)	]X0	
Specific OCR-B	]o2	
Passport OCR	]o2	
Chinese ID Card	]o2	
China Travel Permit OCR	]o2	

注意: 「m」はAIM修飾子の文字を表しています。ISO/IEC 15424:2008 情報技術 - 自動認識およびデータキャプチャ技術 - AIM修飾文字詳細のためのデータキャリア識別子 (シンボロジー修飾子含む)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

## Code ID 表

シンボロジー	Code ID
Code 128	j
GS1-128 (UCC/EAN-128)	j
EAN-8	d
EAN-13	d
UPC-E	c
UPC-A	c
インタリーブド 2 of 5、	e
ITF-14	e
ITF-6	e
Matrix 2 of 5	v
Code 39	b
Codabar	a
Code 93	i
China Post 25	X
AIM 128	X
ISBT 128	X
ISSN	g
ISBN	B
インダストリアル25	l
スタンダード 25	f
Plessey	n
Code 11	H
MSI Plessey	m
GS1 合成	y
GS1 Databar (RSS)	R
Code 49	X
COOP 25	X
Code 16K	X
PDF417	r
QR コード	s



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

Aztec	z
データマトリックス	u



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

MaxiCode	x
Chinese Sensible コード	h
GM	x
Micro PDF417	R
Micro QRコード	X
Code One	X
DotCode	X
USPS Postnet	P
USPS Intelligent Mail	M
Royal Mail	x
USPS Planet	L
KIX Post	K
Australian Postal	A
郵便バーコード (日本)	J
Specific OCR-B	S
パスポートOCR	O
Chinese ID Card	S
China Travel Permit OCR	S



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

## シンボロジーID

シンボロジー	ID
Code 128	002
GS1-128 (UCC/EAN-128)	003
EAN-8	004
EAN-13	005
UPC-E	006
UPC-A	007
インタリーブド 2 of 5、	008
ITF-14	009
ITF-6	010
Matrix 2 of 5	011
Code 39	013
Codabar	015
Code 93	017
China Post 25	019
AIM 128	020
ISBT 128	021
COOP 25	022
ISSN	023
ISBN	024
インダストリアル25	025
スタンダード25	026
Plessey	027
Code11	028
MSI-Plessey	029
GS1 合成	030
GS1 Databar (RSS)	031
PDF417	032
QR コード	033
Aztec コード	034
データマトリックス	035



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
**Enter Setup**

---

Maxicode	036
Chinese Sensible Code	039



#SETUPE0  
**Exit Setup**



#SETUPE1

Enter Setup

GM	040
Micro PDF417	042
Micro QRコード	043
Code One	048
DotCode	050
Specific OCR-B	064
Chinese ID Card	065
パスポート OCR	066
China Travel Permit OCR	068
USPS Postnet	096
USPS Intelligent Mail	097
Royal Mail	098
USPS Planet	099
KIX Post	100
Australian Postal	101
郵便バーコード (日本)	102
Code 49	132
Code 16K	133



@SETUPE1

Enter Setup





#SETUPE1  
Enter Setup

## ASCII 表

Hex	Dec	記号
00	0	NUL (NUL文字)
01	1	SOH (ヘッダ開始)
02	2	STX (テキストの開始)
03	3	ETX (テキストの終わり)
04	4	EOT (送信の終了)
05	5	ENQ (問い合わせ)
06	6	ACK (確認応答)
07	7	BEL (ベル)
08	8	BS (バックスペース)
09	9	HT (水平タブ)
0a	10	LF (ラインフィード)
0b	11	VT (垂直タブ)
0c	12	FF (フォームフィード)
0d	13	CR (キャリッジリターン)
0e	14	SO (シフトアウト)
0f	15	SI (シフトイン)
10	16	DLE (データリンクエスケープ)
11	17	DC1 (XON) (デバイスコントロール1)
12	18	DC2 (デバイスコントロール2)
13	19	DC3 (XOFF) (デバイスコントロール3)
14	20	DC4 (デバイスコントロール4)
15	21	NAK (否定応答)
16	22	SYN (同期アイドル)
17	23	ETB (トランスブロックの終了)
18	24	CAN (キャンセル)
19	25	EM (エンドオブメディア)
1a	26	SUB (サブスティテュート)
1b	27	ESC (エスケープ)
1c	28	FS (ファイルセパレータ)
1d	29	GS (グループセパレータ)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

Hex	Dec	記号
1e	30	RS (送信要求)
1f	31	US (ユニットセパレーター)
20	32	SP (スペース)
21	33	! (エクスクラメーションマーク)
22	34	" (ダブルクォーテーション)
23	35	# 数字記号
24	36	\$ (ドル記号)
25	37	% (パーセント)
26	38	& (アンド記号)
27	39	(シングルクォート)
28	40	( (左/開始括弧)
29	41	) (右/閉じ括弧)
2a	42	* (アスタリスク)
2b	43	+ (プラス)
2c	44	, (コンマ)
2d	45	- (マイナス/ダッシュ)
2e	46	. (ドット)
2f	47	/ (前スラッシュ)
30	48	0
31	49	1
32	50	2
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (コロン)
3b	59	; (セミコロン)
3c	60	< (不等号<)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

---

3d	61	= (等号)
----	----	--------



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

Hex	Dec	記号
3e	62	> (不等号>)
3f	63	? (疑問符)
40	64	@ (アットマーク)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[ (左/ブラケット)
5c	92	\ (バックスラッシュ)
5d	93	] (右/閉じブラケット)



@SETUPE1

Enter Setup



#SETUPE1  
Enter Setup

Hex	Dec	記号
5e	94	^ (キャレット/サーカムフレックス)
5f	95	_ (アンダースコア)
60	96	' (グレイヴ・アクセント)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (左括弧)
7c	124	(垂直某)



#SETUPE0  
Exit Setup



#SETUPE1

Enter Setup

---

7d	125	}	(右括弧)
7e	126	~	(チルト)
7f	127	DEL	(削除)



@SETUPE1

Enter Setup

## Unicodeキーマップ

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	•	•	•		
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	1D	4C	51	56	5B	60	65	6A
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2B				5C	61	66		
2C	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39			53			5D	62	67	6C
3A	3B	3C	3D					3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68				

アメリカ式キーボード (104キー)

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	•	•	•		
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	2B	4C	51	56	5B	60	65	6A
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	1D				5C	61	66		
2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39		53			5D	62	67	6C
3A	3B	3C	3D					3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68				

105 Key ヨーロッパ式キーボード (105キー)

